

<b>科目名</b>	宗教学的人間論	<b>対象 単位数 必修</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修
<b>担当教員</b>	福島 寅太郎		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。 ②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。</p> <p>〔授業の概要〕</p> <p>本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。 宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。</p> <p>本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。</p> <p>本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。</p> <p>福祉コースの受講者には、①福祉の理念を理解し、人権、尊厳の保持や権利擁護の視点および専門職としての基盤となる倫理観を養い、②人間にとっての自立の意味と、本人主体の観点から尊厳の保持や自己決定の考え方を理解する内容としている。</p>		
<b>達成目標</b>	<p>〔到達目標〕</p> <p>①宗教学的“ものの見方”を理解する。 ②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。 ③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。 ④福祉コースの受講者には、人間の理解を基礎として、尊厳の保持と自立について理解し、介護福祉の倫理的課題への対応能力の基礎を身につけさせる。</p>		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	試験成績60点、授業における発表20%、授業における参加態度20%など。理解度8割で、合とする。
<b>教科書</b>	特に指定していないが、必要に応じて、途中から指定する場合がある。その場合は事前に知らせる。		
<b>参考書</b>	特になし。		
<b>学生への要望</b>	ノートをこまめにとること。		
<b>オフィスタイム</b>	月曜日から金曜日（火曜日を除く）昼休みの時(12時～12時40分)。担当教員の研究室（創学館No. 5）		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。	1回目に当たり、とくになし。
2	生活と宗教（1）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、教科書に沿って述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしなが、生活における禅の役割を考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
3	生活と宗教（2）～今どうして禅なのか～	前回の続き。教科書に沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
4	生活と宗教（3）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。教科書を通して学びながら、一緒に考えてみる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
5	生活と宗教（4）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがある。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
6	生活と宗教（5）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
7	生活と宗教（6）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
8	生活と宗教（7）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
9	生活と宗教（8）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、教科書を通して理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める
10	生活と宗教（9）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	生活と宗教（10）～特別授業～	前回の続き。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。	1.5
12	生活と宗教（11）～生活と宗教との関わり～その一	再び教科書に戻る。「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という教科書の著者の言葉を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。	1.5
13	生活と宗教（12）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。人間らしく生きるためにはどうしたらいいか、人間の本質とは何かについて教科書を参考にしながら、考えてみる。	1.5
14	生活と宗教（13）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。	1.5
15	最終回～まとめ～その②	授業の内容を踏まえつつ、建学精神である「尊敬・責任、自由」の意義を再び考えることにする。	1.5

<b>科目名</b>	哲学的人間論	<b>対象 単位数 必修</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	関川 悦雄		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	本授業のねらいは、ご自身の人間としての生き方やあり方について自問自答をしながら、人間をどうとらえるかを探るという点にあります。授業内容がむずかしいように見えるでしょうが、難解な概念や語句をいかに易しい言葉で述べるか、が課題になります。そこで、高校時代の「倫理」や「政治経済」などで学習した人物、たとえば『政府二論』を執筆したロック、『国富論』のアダム・スミス、『純粋理性批判』のカント、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のマックス・ウェーバーらを取り上げます。本講義では、歴史上の哲学者が人間をどうとらえたか、たとえば「人間は考える葦」（パスカル）とか、人間は知性的に行動するとか、人間は自由意志をもつ等などを取り上げます。むろん、一般の方々を視聴者にした放送大学のテキスト『近代哲学の人間像』（印刷教材）を使用します。		
<b>達成目標</b>	1 受講者は各哲学者の考え・思想をまとめることができたか。 2 受講者は各哲学者にあっては「人間をどうとらえたか」という人間像を把握できたか。 3 受講者は各哲学者に関する講義を聴いて、最終的にご自身の「人間としての生き方やあり方」を述べることでできたか。		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	毎回ワークシートを使用し、教科書（テキスト）をいくつかのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで必ず1回は発表することで、20点とする。学期末試験で80点とし、合計100点とする。
<b>教科書</b>	佐藤康邦『近代哲学の人間像』（放送大学教材NHK出版）を使用する。絶版の場合は当方でコピー物を用意する。		
<b>参考書</b>	特になし		
<b>学生への要望</b>	講義への主体的、協力的な参加を要望する。専用のノートを準備すること。		
<b>オフィスタイム</b>	水曜Ⅲ限（12:50～14:20）；木曜Ⅳ限（14:30～16:00）。随時、時間のあるときに相談に応じるので、下記のメール・アドレスで事前のアポをとること。ugg28553@m4.dion.ne.jp		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；レポート作成と整理
2	経験論の哲学（1）—ロックの経験論哲学	生得観念の拒否、タブラ・ラサ、経験論にとっての感覚・理性、社会契約説、認識論の是非などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
3	経験論の哲学（2）—ヒュームの哲学	スコットランド倫理学、単純印象と想像力、因果性の問題、心の同一性の問題などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
4	アダム・スミスにおける倫理学と経済学（1）	アダム・スミスの生涯、スミスの倫理学（『道徳感情論』をめぐって）—天文学史、共感と倫理学、公平な観察者、正義と博愛などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
5	アダム・スミスにおける倫理学と経済学（2）	スミスの経済学（『国富論』をめぐって）—近代哲学の成果としての『国富論』、分業と交換、資本と労働などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
6	カントの哲学（1）—純粋理性批判	カントという人物、『純粋理性批判』の全体構成、アプリオリな総合判断、超越論的感性論、超越論的論理学などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
7	カントの哲学（2）—実践理性批判	道徳と自由、『実践理性批判』の全体構成、道徳と世界の目的—徳と幸福との一致、目的としての人格などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
8	ヘーゲルの哲学—ドイツ観念とヘーゲル	カントの『判断力批判』の継承—ゲーテの自然学、シェリングの哲学、ヘーゲル哲学の誕生、ヘーゲルの哲学体系などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
9	実証主義的科学と哲学（1）—実証主義の制圧	実証主義的科学、実証主義の制圧—コントと実証主義、ダーウィンとマルクス、フロイトと無意識、新実証主義などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
10	実証主義的科学と哲学（2）—哲学からの反発	キルケゴールと実存主義、ニーチェの生哲学とパースペクティヴィズムなどを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
11	マックス・ウェーバーと社会学（1）	マックス・ウェーバーと西洋合理主義—『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、宗教社会学、支配の社会学、理解社会学などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
12	マックス・ウェーバーと社会学（2）	社会システム論—パーソンズの社会システム論、ルーマンの社会システム論などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
13	生命概念のもとでの哲学の主張（1）	フッサールと超越論的現象学—フッサールのロック批判、現象学的還元、ベルクソンの近代科学批判と生命概念—時間と自由、『創造的進化』、生命の跳躍などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
14	生命概念のもとでの哲学の主張（2）	日本近代と生命概念—『善の研究』、『自覚における直観と反省』などを扱う。	予習・復習；レポート作成と整理
15	授業のまとめ		予習・復習；レポート作成と整理

<b>科目名</b>	倫理学的人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	関川 悦雄		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	本授業のねらいは、われわれが日常生活で、「この行為はまちがっているのではないかと疑問に思い、「正しい行為とは何か」と考えてみることにあります。授業内容がむずかしいように見えるかもしれませんが、家族との何気ない雑談や友人とのちょっとした会話で、「何か納得できないなあ」といった疑問をもとに学習を始めることですね。この個人的な問題からテレビや新聞などで論じられる社会的な問題に発展させると、ここでも「その答えはほんとうにそれでよいのかなあ、あるいはちがうのではないのかなあ」という疑問をいただくことでしよう。さらに、国際的な争いや地球規模での事件などについても、何が正しい解決策であり、何が正当を得た答えなのか、を受講者の皆さんとじっくりと考えてみましょう。こうした問題は、まぎれもなく倫理学や道徳という学問領域で扱われ、この領域を本授業で取り上げます。		
<b>達成目標</b>	1 受講者は何が善であり何が悪であるか、何が良くて何が悪いか、何が正しくて何が間違いか、などを意識的に考えることができたか。 2 受講者は倫理学における概念・理念・知識などをまとめ、整理できたか。 3 受講者は倫理学における概念・理念・知識などをどの程度習得できたか。		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	毎回ワークシートを使用し、教科書（テキスト）を使いつつこのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで必ず1回は発表することとする。評価はこれらを含めて学期末のまとめ作成で100点とする。
<b>教科書</b>	①田上孝一『フシギなくらい見えてくる 本当にわかる倫理学』（日本実業出版社）、②葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子共著『新・いのちの法と倫理』（改訂版、法律文化社）		
<b>参考書</b>	特になし。		
<b>学生への要望</b>	講義への主体的、協力的な参加を要望する。専用のノートを準備すること。		
<b>オフィスタイム</b>	水曜Ⅲ限（12:50～14:20）；同曜Ⅳ限（14:30～16:00）。随時、時間のあるときに相談に応じるので、下記のメール・アドレスで事前のアポをとること。ugg28553@m4.dion.ne.jp		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
2	倫理とは何か	倫理と道徳の違い、倫理の定義、倫理学で大切なこと、規範倫理学・応用倫理学・メタ倫理学の各内容、倫理学と哲学の分かれ目は価値、などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
3	正義が絶対に正しいことはあるのか	多様性と倫理、善の価値は人により変わる、善とは何か、人間が守るべき正義とは何か、自由はどこまで許されるのか、すべての表現に自由は認められるのか、などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
4	倫理は一生つきまとう	多数のために少数を犠牲にしているのか、新たな死・脳死どう考えたらいいのか、ドーピングをやっても勝てばいいのか、子育てや介護を他人に任せてもいいのか、自殺をする自由はあるのか、代理母で子どもをもつことはいいのか、などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
5	人間とはすごい存在なのか	人間とは特別な存在なのか、なぜ人間には権利があるのか、自然を中心とした倫理学とは何か、地球温暖化から成長の限界を考えよう、ライフスタイルを考えるために倫理を試みる、などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
6	倫理を通じて社会のルールを考えよう	善い社会とは何か、倫理学で社会を見つめてみる、人間はコミュニティの一員ではないのか、「最大多数の最大幸福」におけるジレンマとは何か、死刑は絶対に必要なのか、ギャンブルに依存して勝手なのか、酒やタバコもやめられない、なぜ倫理学を学ぶ必要があるのか、などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
7	自己決定権と人間の尊厳（1）	自己決定権とは何か—哲学的根拠、法学的根拠、自己決定権と生命倫理—、問い直される自己決定権などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
8	自己決定権と人間の尊厳（2）	尊厳という言葉、二つの人間の尊厳観、法・倫理原則としての人間の尊厳、人間の尊厳への関係論的アプローチなどを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
9	人工生殖—生命の神秘への挑戦	生命の誕生と不妊、不妊治療と排卵誘発剤、様々な人工生殖技術—人工授精・体外受精・代理懐胎などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
10	人工妊娠中絶—産まない権利か生れる権利か	わが国の中絶の歴史と中絶法—中絶の歴史と墮胎罪・中絶規制法—、中絶は認められるか—胎児の生命権・女性の自己決定権・残された問題点—などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	医療の法と倫理—患者を支える医療	患者の権利とは何か—患者の権利の歴史・患者の権利の内容・医療行為と法—、ガン告知とホスピス—ガン告知の現状・ガン告知をめぐる裁判と文化、ガン告知のあるべき姿・ホスピス医療の理念と実際—などを扱う。。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
12	安楽死・尊厳死—生命の尊重と人間の尊厳	安楽死・尊厳死の定義、安楽死の倫理と法—安楽死の論点・安楽死裁判—、尊厳死の倫理と法—尊厳死の論点・尊厳死をめぐる裁判などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
13	脳死・臓器移植—生と死のはざま（1）	脳死とは何か、臓器移植法—脳死の法理・立法までの経過・改正「臓器移植法」とその問題点などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
14	脳死・臓器移植—生と死のはざま（2）	脳死は認められるか—脳死説をめぐる賛否論・脳死説の合理性—、なぜ脳死臓器移植は受け入れられないのか—和田心臓移植事件・日本人の死生観と脳死と臓器移植・残された課題—などを扱う。	予習・復習；レポートの作成と整理 60
15	授業のまとめ		予習・復習；レポートの作成と整理 60

<b>科目名</b>	心理学的人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	折笠 国康		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。                  ②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。                  ③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p>		
<b>達成目標</b>	<p>本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。                  ②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。                  ③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p>		
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 家政学部 食物栄養学	<b>成績評価 方法</b>	内容の「60%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%、試験70%で行う。
<b>教科書</b>	特に指定はない。授業中に資料を配布することがある。		
<b>参考書</b>	必要に応じて紹介する。		
<b>学生への要望</b>	講義への協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。		
<b>オフィスタイム</b>	金曜日 2限 835 3限 835		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション、心理学とは	この授業の目的と授業方針を理解する。心理学的な思考や考察が果たす役割を理解する。	60
2	人間の発達(1) 一発達心理学一	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。	60
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。	60
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。	60
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。	60
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。	60
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。	60
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。	60
9	自己とは(7) 自己受容	C. ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。	60
10	自己とは(8) 防衛機制	A. フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。	60
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。	60
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	60
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。	60
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。	60
15	本講義のまとめ	試験を実施し、本講義の振り返りを通して心理学的な人間論を復習する。	60

<b>科目名</b>	生物学的人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	伊藤 哲章		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	<p>私たちの身の回りは、様々な社会的事象であふれています。感動的な出来事もあれば、失望するような問題もあります。このような出来事や問題の背景には、その原因となった社会状況があります。その社会状況は、どのようにして生じたのでしょうか。その答えを探していくと、そもそも人間はどのような生き物で、人類はどこから生まれてきたのか、という問いにまで遡ることになります。すると、その問いに対する答えが得られれば、それは自分や社会をより良いものへと改善する手がかりが得られるということになります。</p> <p>2018年3月14日に死去した高名な理論物理学者であるスティーブン・ホーキング博士という方は、「人類に残された時間はあと100年」と発言しています。それがもし本当なら、人類を救う方法を探さなければなりません。人類を変える？それには、まず人類がどうしてこのようになったのか、つまり人間らしさとは何かを知る必要があるでしょう。でも、それはやる価値のあることですよ。</p> <p>この授業では、(生物学的な)人間らしさについて、男女、老若、人種、集団、感情、性格、行動、記憶、意識という側面から考えていきます。人間らしさとは何か、それがわかれば、どうして私たちや私たちの社会はこのようになっているのか、その答えの一部も得られるでしょう。そして、その答えを手がかりに、人類を救う方法を探してみましょう！</p>		
<b>達成目標</b>	人間らしさを構成する様々な要素について実感し、自己や社会をより良いものへと改善するためにはどうしたらよいか、そのアイディア(着想)を得ることがこの授業の目標です。		
<b>受講資格</b>	なし	<b>成績評価 方法</b>	授業中におけるアイディア・ペーパーの内容やアクティブ・ラーニング(ゲーム、アンケート、意見聴取等)の対応について点数化(100点満点)
<b>教科書</b>	なし(授業ごとにプリントを配布)		
<b>参考書</b>	授業内で紹介します。		
<b>学生への要望</b>	授業中に、学生が参加するゲーム、アンケート等をする場合や学生から意見を聞く場合がありますので、積極的に取り組んでください		
<b>オフィスタイム</b>	木曜日 1. 2限 金曜日 3. 4限		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	30
1	この講義について、男女 Part 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>本講義全体について説明します。</li> <li>私たちはみんな女か男です。人は女と男から成り立っています。女と男に別れていることは生物にとってどんな利点があるのでしょうか？異性へのアピールってどうしたらいいのでしょうか？</li> <li>女性の役割と男性の役割について、生きものにはどのようなパターンがあるのでしょうか？</li> <li>主要トピック： 無性生殖と有性生殖、有性生殖の必要性、性淘汰</li> <li>多夫一妻制、一夫多妻制、一夫一妻制</li> </ul>	女性の役割と男性の役割について、生きものにはどのようなパターンがあるのか考える。
2	男女 Part 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性と男性では、体のつくりの違いがあります。特に、脳における相異は、我々の社会の在り方にも影響しています。このような相異は、どうして生じたのでしょうか。そして、女性と男性の係わりには、どう影響しているのでしょうか？</li> <li>主要トピック： 脳の機能、霊長類の行動例</li> </ul>	女性と男性では、体のつくりの違いがあります。特に、脳における相異は、我々の社会の在り方にも影響しています。このような相異は、どうして生じたのか考える。
3	老若 Part 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちはみんな生まれて育って年老いていきます。妊娠から出産を経て新生児や乳幼児への成長、その過程において、人になるためのどのようなメカニズムが働いているのでしょうか。</li> <li>そこに、科学の発展はどのような影響を与えているのでしょうか。</li> <li>主要トピック： 妊娠と新生児(母体が胎児に与える影響、ヒトの形態と妊娠、胎児の発達)、乳幼児(刺激と発達)</li> </ul>	人になるためのどのようなメカニズムが働いているのか考える。
4	老若 Part 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>哺乳類は、子育てをする生きものです。人類にも共通する哺乳類教育の特色にはどのようなものがあるのでしょうか？</li> <li>人の成人、高齢期にはどんな特徴があるのでしょうか？また、私たちにはみな寿命があります。寿命ってどう考えたらいいのでしょうか？</li> <li>主要トピック： 成人(身体の調節機構、身体的老化)、更年期・高齢期の特徴、寿命</li> </ul>	哺乳類は、子育てをする生きものです。人類にも共通する哺乳類教育の特色にはどのようなものがあるか考える。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
5	集団 Part 1	<p>・人は集団をつくる生きものですが、全世界が仲良しの一つの集団にはなっていません。どうして人は、大勢で仲良しの集団をつくることができないのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：毛づくろい、言語、ヒトの起源（猿人、原人、旧人）</p>	<p>どうして人は、大勢で仲良しの集団をつくることができないのか考える。</p> <p>30</p>
6	集団 Part 2	<p>・現代の社会では、各個人はどのような集団の中に入ると意識しているのでしょうか？また、現代の人のばらつきにどのような特色があるのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：集団の構成単位、人種の4大区分、日本民族の構成、人種の特長、民族とその行動原理</p>	<p>現代の社会では、各個人はどのような集団の中に入ると意識しているのか考える。</p> <p>30</p>
7	感情 Part 1	<p>・動物や人間には、どうして感情があるのでしょうか？感情は何の役にたっているのでしょうか？感情がなくなったらどうなるのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：動物の感情、感情の発生、感情の役割、表情認知</p>	<p>動物や人間には、どうして感情があるのか考える。</p> <p>30</p>
8	感情 Part 2	<p>・動物の感情と人の感情には、どのような違いがあるのでしょうか？集団や社会を形成するために、特に必要な感情とはなんなのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：高次認知的情動、感情と脳、共感</p>	<p>動物の感情と人の感情には、どのような違いがあるのか考える。</p> <p>30</p>
9	性格 Part 1	<p>・世の中には、善人もいれば、悪人もいます。でも、その境界って、なんなのでしょうか。善人は何もかも善意で対処し、悪人は何もかも悪意で対処するのでしょうか。善人や悪人に共通する傾向はあるのでしょうか。</p> <p>・主要トピック：種の保存と自己保存</p>	<p>善人は何もかも善意で対処し、悪人は何もかも悪意で対処するのか考える。</p> <p>30</p>
10	性格 Part 2	<p>・誰だって本当は悪人よりも善人でいたいはずですよ？でも、それには、どんな時にどうすることが善行なのかかわかっていなければなりません。現在の社会において、善人でいようとしたら、どうしたらよいのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：利己的遺伝子論</p>	<p>現在の社会において、善人でいようとしたら、どうしたらよいのか考える。</p> <p>30</p>
11	行動 Part 1	<p>・ある程度の年齢になると、価値観・人生観・生き方が身についてきます。いろいろな局面における選択は、どの程度生まれつきの性質が原因で、どの程度が自分ならではの意志によるものなのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：行動学、行動経済学</p>	<p>いろいろな局面における選択は、どの程度生まれつきの性質が原因で、どの程度が自分ならではの意志によるものなのか考える。</p> <p>30</p>
12	行動 Part 2	<p>・人は誰でも、価値観・人生観・生き方に基づいた選択をしています。この選択は、そのときどきの状況にどれくらい影響されるのでしょうか？また、そのような影響が積み重なると、社会はどのように変わっていくのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：囚人のジレンマ、認知心理学</p>	<p>人は誰でも、価値観・人生観・生き方に基づいた選択をしています。この選択は、そのときどきの状況にどれくらい影響されるのか考える。</p> <p>30</p>
13	記憶	<p>・記憶は、自分自身によって操られています。もし、そうでなければ、自分が感知した膨大な情報の取扱いに混乱してしまい、日常生活を送ることさえ困難になってしまうでしょう。それでは、その操作は、どのような仕組みに基づいているのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：記憶と情動、自伝的記憶の特性</p>	<p>記憶は、自分自身によって操られています。その操作は、どのような仕組みに基づいているのか考える。</p> <p>30</p>
14	意識 Part 1	<p>・人間は、他の動物よりも高度な思考を操っているとされています。では、どの程度自由に（意識的に）、人間は思考を操ることができるのでしょうか。そこに本能はどの程度関係しているのでしょうか？</p> <p>・主要トピック：メタ認知</p>	<p>人間は、他の動物よりも高度な思考を操っているとされています。では、どの程度自由に（意識的に）、人間は思考を操ることができるのか考える。</p> <p>30</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
15	意識 Part 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識と無意識は、密接に係っています。この係りは、どの程度、コントロール（意識的に制御）が可能なのでしょうか？もし、よりコントロールすることができたら、意識を人生をどのように変えることができるのでしょうか？</li> <li>・主要トピック： 潜在連合テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識と無意識は、密接に係っています。この係りは、どの程度、コントロール（意識的に制御）が可能なのか考える。</li> </ul>

30

<b>科目名</b>	生活学的政治論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修	
<b>担当教員</b>	影山 彌			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	今日、私達の生活における、最も顕著な特色は、「生活の外部的化」といわれる現象である。それは、工業化という大きな経済的変化の中で起こったといえるが、元来、「家庭の生活機能」である、衣・食・住、暮らし、保育、教育、娯楽、扶養、燃料、飲み水などが、企業の商品、行政サービスなどによって取って代わられつつある状況を、「生活の外部的化」という。従って、今日、私達の生活の充実を考える上で、政治や行政が大きな焦点になる。本講義では、様々なテーマを通して、生活と政治との関わりを考える。			
<b>達成目標</b>	今日の生活にとって、政治の働きが不可欠であることを理解できること。			
<b>受講資格</b>	人間生活学科（生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース）・食物栄養学科	<b>成績評価 方法</b>	受講態度（20%）、テスト結果（80%）	
<b>教科書</b>	特になし。 毎時間授業内容のレジュメを配布する。			
<b>参考書</b>	前田繁一編著『現代と政治学』法律文化社			
<b>学生への要望</b>	授業目標を毎回確認すること。			
<b>オフィスタイトム</b>	金曜日を除く昼休み（12:00～12:50） 創学館4階No.2研究室			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	政治化の時代について	①福祉、暮らし、生活環境など、多様な要求が政治に対して向けられていること、②政治の場において要求間の対立が起こること、③政治によって生活が管理されていること、これらの3つから、生活と政治の深い関わりをもつ現代について、政治化の時代と呼ぶ。	講義資料について復習する。	60
2	政治的無関心について	政治化の時代であるにもかかわらず、かなりの政治的無関心層が存在する。現代型政治的無関心といわれる、①脱政治的無関心、②無政治的無関心、③反政治的無関心、について説明し、政治的無関心の功罪について考える。	講義資料について予習・復習する。	60
3	政治を理解する枠組み（1）	政治とは、国民の要求・支持を受けて、法律や政策を作り出すことであることを理解する。このことによって、生活と政治との関連として正しく理解する。	講義資料について予習・復習する。	60
4	政治を理解する枠組み（2）	国民の要求・支持を受けて、法律や政策が形成される過程について、そこに参加する個人、政治団体、機構などを理解する。	講義資料について予習・復習する。	60
5	食の安全について	01年9月、日本で初めて確認された、牛海綿状脳症（BSE）を中心に考える。対策として実施された、全頭検査、飼料規制、食品安全基本法の制定、食品安全委員会、米国産牛肉の輸入条件などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
6	食糧自給率の問題（1）	先進国で最低であるわが国の食糧自給率をめぐって、その主たる原因である食生活の欧米化や、戦後の農業基本法農政、などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
7	食糧自給率の問題（2）	今後の最大の問題である、農産物の完全自由化をめざす環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の内容を説明し、それが、わが国の食糧自給率に与える影響について考える。	講義資料について予習・復習する。	60
8	暮らしの問題（1）	増え続ける低所得層の現状を捉える。そのために、国民の相対的貧困率の上昇、若者の低所得層の問題、非正規雇用者の増大、労働者派遣法の制定と規制緩和、などについて説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
9	暮らしの問題（2）	最後の安全網（セーフティネット）といわれる生活保護の受給世帯及び受給者が急激に増大している。こうした状況を受けて、生活保護制度の概要、現状及び課題について解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
10	暮らしの問題（3）	子供の貧困が注目されてきており、それは先進国の中でも高い水準にある。子供の貧困の現状と、その子供の成長に与える様々な影響について考える。また、子供の貧困に対する、わが国の政策の現状と問題点について解説する。	講義資料について予習・復習する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	少子化の問題	わが国の少子化は歯止めがかからず、むしろ次の4点から深刻化の事態にあるといえる。①日本の総人口の減少、②合計特殊出生率の低下、③未婚率の増大、④夫婦出生率の低下。こうした深刻な少子化の事態について、少子化の社会的、経済的影響、少子化の原因、少子化対策の現状及び有効な少子化対策について考える。少子化を止めたフランスの少子化対策についても解説する。	講義資料について予習・復習する。 60
12	高齢者介護の問題	現在、わが国は、超高齢社会といわれている。それにとともに、要介護高齢者が増大し、介護の問題が国民的課題となっている。これをうけて、'00年4月、介護保険制度がスタートし、社会全体で介護の問題に当たることにした。介護保険制度の概要、現状及び課題などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。 60
13	生活の充実を目指す政策体系	今日、工業化にともなう都市化により、都市的生活様式が全般化している。こうした現状のなかで、生活の充実のための政策体系として、シビル・ミニマムが提起されている。それは、Ⅰ社会保障、Ⅱ社会資本、Ⅲ社会保健、の3つから構成されている。それぞれの具体的内容、生活の充実との関連及び地方政治との関連性、などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。 60
14	公的年金制度について	シビル・ミニマムの柱の一つである社会保障の中の公的年金制度について、老後の生活を支える国民年金、厚生年金、共済年金の概要と現状について説明する。	講義資料について予習・復習する。 60
15	社会資本・社会保健について	シビル・ミニマムの二つの柱である社会資本・社会保健について、この二つが特に生活の質の向上に寄与する、快適で、健康的で、安全な生活環境を整備する条件であることを捉える。アクティブラーニングを実施する。	講義資料について予習・復習する。 60

平成31年度

<b>科目名</b>	生活学的法律論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	鈴木 康元		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。</p>		
<b>達成目標</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること</p>		
<b>受講資格</b>	家政学部 1年	<b>成績評価 方法</b>	ペーパー試験と出席の程度を考慮する
<b>教科書</b>	その都度指定する		
<b>参考書</b>	その都度指定する		
<b>学生への要望</b>	法律一般につき興味をもって欲しい		
<b>オフィスタイト</b>	授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	家族法とは	民法における家族法位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻（1）	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻（2）	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚（1）	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚（2）	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子（1）	親子の種別（実子・養子）と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子（2）	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力（1）	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力（2）	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

<b>科目名</b>	生活学的社会論		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	長谷川 貴弘			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	<p>私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。          本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目的としている。          まず「社会」という概念について学習し、社会の構造、状態、課題について理解を深めるため、少子高齢化、雇用問題、経済格差、グローバルイノベーション等、ニュースや新聞で取り上げられる事象を通じて解説する。          なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。          ○実務経歴          内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。</p>			
<b>達成目標</b>	私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目的とする。			
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	<b>成績評価 方法</b>	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
<b>教科書</b>	プリントを配布する。			
<b>参考書</b>	浅野智彦編著「社会学のことが面白いほどわかる本」、中経出版 他			
<b>学生への要望</b>	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。			
<b>オフィスタイム</b>	火曜日 3コマ 水曜日4コマ 経営管理学習研究室			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題—DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート、日本の雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と文化①	癒しと宗教について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と文化②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（1）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（2）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（3）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

<b>科目名</b>	生活学的経済論		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	長谷川 貴弘			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	<p>本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。</p> <p>なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。</p> <p>○実務経歴 在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事。</p>			
<b>達成目標</b>	経済的事象を経済学的視点で見る目を養うとともに、公務員試験の経済学の問題にも対応できる力を養うことを到達目標とする。			
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	<b>成績評価 方法</b>	①小テスト30点 (15点×2回) ②レポート70点	
<b>教科書</b>	プリントを配布する。			
<b>参考書</b>	伊藤元重「はじめての経済学(上)(下)」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
<b>学生への要望</b>	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
<b>オフィスタイトム</b>	火曜日 3コマ 水曜日4コマ 経営管理理学研究室			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争(自由貿易vs保護貿易)について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済-エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済-エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習しておくこと。	30
10	生活と経済-エンゲルの法則と家計調査③	近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	マクロ経済学の基本と日本経済①	マクロ経済学(Macro Economics)が分析の対象とするGDP(国内総生産)の計算方法とその意味する点について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	マクロ経済学の基本と日本経済②	日本と世界のGDPのデータを通じて、それが意味するものについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済~郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
14	地域経済~郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する(前回の続き)。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
15	まとめ	これまでの学修内容を確認する。 小テスト(2回目)	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

平成31年度

<b>科目名</b>	日本国憲法	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	鈴木 康元		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		
<b>達成目標</b>	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。		
<b>受講資格</b>	家政学部1年生	<b>成績評価 方法</b>	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)
<b>教科書</b>	憲法【第二版】 弘文堂		
<b>参考書</b>	特に指定しない		
<b>学生への要望</b>	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。		
<b>オフィスタイム</b>	火曜日 授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

<b>科目名</b>	生活生物学	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	源川 博久		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	生活生物学では「生物(生命)とは何か」を理解するために、主に「生物の分類」「細胞生理」「エネルギー代謝」「遺伝」について学ぶ。また、これらを理解する上では化学的な知識も必要となるため、生化学の基礎についても取上げる。		
<b>達成目標</b>	生活生物学は共通基礎科目として開講されるため、高校では生物や化学といった理系科目を選択しなかった人が、生理学、基礎栄養学、生化学などの専門基礎科目を理解できるように、理系科目の基礎を生物学的観点より理解することを目標とする。		
<b>受講資格</b>	特になし。	<b>成績評価 方法</b>	授業態度(10%)と理解度確認試験の結果(90%)より総合的に評価する。
<b>教科書</b>	資料(パワーポイント)をWLRよりdownloadする。		
<b>参考書</b>	ホートン生化学 第4版、鈴木絃一ら訳、東京化学同人 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録、鈴木孝仁監修、数研出版		
<b>学生への要望</b>	生活生物学と関係の深い科目と関連付けをして学習することが望ましい。また、予習・復習をして理解度を高めることが重要です。そのため、わからないことは生活生物学に関わらず質問すること。		
<b>オフィスタイム</b>	主に水・金曜日 12:10-12:40 栄養化学研究室		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、生活生物学で取りあげる授業内容について説明する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
2	生化学の基礎Ⅰ	生物の生命活動を理解するために、生物を構成する成分ならびに糖質の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
3	生化学の基礎Ⅱ	生物の生命活動を理解するために、タンパク質の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
4	生化学の基礎Ⅲ	生物の生命活動を理解するために、脂質の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
5	生化学の基礎Ⅳ	生物の生命活動を理解するために、核酸と水の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
6	生物の分類	ウイルスと生物の比較、生物の分類を学ぶことで、生物の特徴を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
7	原核生物と真核生物	原核生物の特徴を真核生物との相違点を確認し、さらに、真核生物については単細胞生物と多細胞生物に分けて確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
8	細胞の構成Ⅰ	細胞小器官の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
9	細胞の構成Ⅱ	細胞膜の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
10	エネルギー代謝Ⅰ	代謝とエネルギー(ATP)の概念を学び、エネルギー代謝の流れを解説する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
11	エネルギー代謝Ⅱ	生物に共通する解糖系と好気呼吸について生化学的に解説する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
12	エネルギー代謝Ⅲ	生物に重要なその他の代謝系について生化学的に解説する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
13	遺伝Ⅰ	セントラルドグマのうちDNAの半保存的複製について学び、遺伝の基礎を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
14	遺伝Ⅱ	セントラルドグマのうちタンパク質合成について学び、遺伝の基礎を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。
15	まとめと試験	これまでの授業のポイントをまとめ、試験にて理解度を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。

平成31年度

<b>科目名</b>	生活化学	<b>対象 単位数 必修</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修
<b>担当教員</b>	高橋 徹		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	化学は栄養学、被服学、材料学などを学ぶにあたって土台となる学問です。この授業では、化学の基本的な原理、原則を取得することを目的としています。 一部、ミニ講義などのアクティブラーニングを導入しています。		
<b>達成目標</b>	化学の基本的な原理、原則を理解する。		
<b>受講資格</b>	出席60以上	<b>成績評価 方法</b>	レポート（60%）および授業態度と出席（40%）の総合評価
<b>教科書</b>	なし		
<b>参考書</b>	特になし		
<b>学生への要望</b>	よく理解できないところは、積極的に復習してください。		
<b>オフィスタイム</b>	火曜日のII限および月曜IV限、その他適宜対応します。  No. 1栄養学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	生活の中の化学	化学の役割、他分野との化学との関係、化学が活かされる場	講義内容の振り返りを行う。 60
2	化学と生活	化学物質と生活	講義内容の振り返りを行う。 60
3	攪拌と反応	攪拌の概念、カルマンの渦、乱流、物質の移動	講義内容の振り返りを行う。 60
4	化学の基礎	原子量・分子量・モル、濃度	講義内容の振り返りを行う。 60
5	化学結合1	イオン結合、共有結合	講義内容の振り返りを行う。 60
6	化学結合2	配位結合、金属結合、水素結合、ファンデルワールス力	講義内容の振り返りを行う。 60
7	食品の化学1	身近な食品について1	講義内容の振り返りを行う。 60
8	食品の化学2	身近な食品について2	講義内容の振り返りを行う。 60
9	食品の化学3	身近な食品について3	講義内容の振り返りを行う。 60
10	薬の考え方と機能性成分の考え方	薬の化学、機能性成分の化学	講義内容の振り返りを行う。 60
11	貿易の場の化学	貿易での化学	講義内容の振り返りを行う。 60
12	文化と化学	各文化での化学	講義内容の振り返りを行う。 60
13	温度の化学	温度と化学反応の関係	講義内容の振り返りを行う。 60
14	レポートの書き方	レポートの書き方、テーマの選択	講義内容の振り返りを行う。 60
15	まとめ	全体のまとめと復習	講義内容の振り返りを行う。 60

<b>科目名</b>	生活物理学	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	石原 正道		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	生活に関わる現象の物理的な理解を目的とし、様々な現象の状態・変化を記述する物理学を学ぶ。本講義では日常生活で見られる現象に対する物理学的な見方を学ぶ。またエネルギー・エントロピーなど、現代社会における重要な概念を学び、社会生活を送る上で適切な判断ができるよう基礎知識を習得する。		
<b>達成目標</b>	生活に係わる現象の物理学的理解のために本講義では、(1) 基礎的な用語を理解していること、(2) 基本的な物理量の定量評価ができること、(3) 日常現象の物理的な説明ができること、を目標とする。		
<b>受講資格</b>	なし。	<b>成績評価 方法</b>	課題(理解度の確認) 2回・理解度確認ペーパーの提出による。配点割合は課題が各 40%、理解度確認ペーパーの提出を 20% とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。課題実施時の持ち込みは、自筆記入による A4 用紙 1 枚 (表裏記入可) のみに限る。成績評価の観点からは、1) 基礎的な用語の理解、2) 基本的な物理量の定量評価、3) 日常現象の物理的な説明 ができることである。
<b>教科書</b>	適宜プリントを配布する。		
<b>参考書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横田 俊昭, ぶつり学, 共立出版株式会社 (1993)</li> <li>・数研編集部 編, 物理図録, 数研出版 (平成 18 年)</li> <li>・志村史夫, いやでも物理が面白いなる, 講談社 (2001)</li> </ul>		
<b>学生への要望</b>	基本的な数式の扱いに慣れておくこと。また内容が多岐に渡るので、参考書などを利用し理解を深めよう努めること。		
<b>オフィスタイム</b>	月曜日 16:10-17:05, 情報処理教育研究室 火曜日 16:10-17:05, 情報処理教育研究室 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。 アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	イントロダクション	授業の目標・内容・成績評価の方法を提示する。また本講義を受ける上で前提とする数学のレベルを提示し、次週以降の準備として比率・指数・接頭辞・比例と反比例に関する復習を行う。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗および比例と反比例における変数間の関係を確認すること。	30
2	スカラーとベクトル	物理学で必要となるスカラーとベクトルの概念、演算法則、具体例を学ぶ。物理学で重要な量に位置や速度があるが、これらはベクトル量であることを理解し、速度が(ベクトルとしての)位置の変化量に関係することを学ぶ。	本時の復習として、ベクトルの演算法則を確認すること。また位置がベクトルとして表現されること(位置ベクトル)と位置ベクトルの変化が速度と関係することを確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
3	ニュートンの3法則(慣性の法則・作用反作用の法則)	運動方程式に現れる量は加速度であるため、まず加速度とはどのように定義される量か、位置と速度の関係を参照することで理解する。また運動を理解する上で重要なニュートンの3法則を学ぶ。ここでは慣性の法則と作用・反作用の法則について学ぶ。授業内で押し合いなどの体験を通して、作用・反作用の法則の内容を理解する。	本時の予習として、位置と速度の関係を確認しておくこと。本時の復習として、速度と加速度の関係を位置と速度の関係と同一であることを確認すること。さらに2つの相互作用する物体間の力を図示してみる。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
4	ニュートンの3法則(運動方程式)	ニュートンの3法則の一つである運動方程式について学ぶ。概念を理解するため質量が一定の場合に成立する運動方程式を導入する。次に運動量の概念を導入し、質量が変化する場合にも対応できる運動方程式(ニュートンの運動方程式)を導入する。さらに具体例により運動量の変化と力の関係を理解する。また導入された運動量に対する保存則(運動量保存則)が成立することを示し、具体例を通して運動量保存則の意味を理解する。	本時の復習として、ニュートンの三法則の内容を確認すること。また運動量の定義および運動量保存則の意味を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90
5	角運動量	角運動量とはなにか定義し、角運動量が保存則(角運動量保存則)していることを理解する。角運動量保存則により、スケートのスピンのなどが理解できることを示す。また角運動量を変化させる力であるモーメントあるいはトルクを導入し、道具や機器とモーメントの関係を理解する。バットなどを用いて、回転の中心からの距離がモーメントに影響することを体感し、モーメントの意味を理解する。	本時の復習として、角運動量とモーメントの定義および各運動量保存則の意味を確認すること。また角運動量保存則の意味と具体例を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
6	仕事とエネルギー	仕事の概念を導入する。また単位時間あたりの仕事を意味する仕事率を定義する。これらの仕事の概念からエネルギーの概念を導出する。過程によらずエネルギーは保存すること(エネルギー保存則)を示し、具体的な例として位置エネルギー(水力発電などが該当)や運動エネルギーを学ぶ。また具体的な例によってエネルギーの量がどの程度であるのか概算する。	本時の復習として、仕事とエネルギーの関係を確認すること。またエネルギー保存則と日常の現象との関係を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。
7	圧力	日常では力の概念を用いるより、力を平均化した圧力を用いる方が有効な場合がある。ここでは圧力を定義し、体重による圧力や大気圧の概算を行い、日常の圧力がどの程度であるのかの感覚を掴む。また体重による圧力や水圧に関する簡易実験などを行い、圧力に起因する現象や圧力を利用した装置などについても学ぶ。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の関係を整理すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。
8	物質の三態	熱力学を理解する上で有用な気体の性質について学ぶ。理想気体の法則であるボイル・シャルルの法則を学び、状態方程式の概念を掴むこととする。物質の三態(気体・液体・固体)を理解し、温度が一定であっても圧力により様々な状態を取ることなどを学ぶ。またこれらの相の変化(相転移)の概念を学ぶ。	本時の復習として、状態方程式で関係づけられる物理量を確認すること。また相図から、実現される相(気体・液体・固体)は圧力や温度に依存していることを確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。
9	熱力学の法則	熱を扱う学問を熱力学と呼ぶ。熱とは何かを理解し、熱力学の基本法則の一つである熱力学第一法則(熱を含むエネルギー保存則)を学び、エネルギーとの関係で比熱を理解する。また熱機関の考えを通じ、熱力学の基本法則の一つである熱力学第二法則(エントロピー増大の法則)を学ぶ。エントロピーの概念の概略を掴み、自然の変化の方向がエントロピーによって定まっていることや環境問題とエントロピーの関係を理解する。	本時の予習として、エントロピーという単語を調べる。また本時の復習として熱力学の第一法則と力学的なエネルギー保存則の違い、および熱力学第二法則の意味を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。
10	課題1	これまでの内容理解を確認するための課題を行う。課題実施後にこれまでの内容について整理する。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。
11	波	波の基本的な特徴や性質について学ぶ。波の物理的特徴である振幅・波速・波長およびこれらと関係する振動数(周波数)について理解する。さらに縦波と横波の差異や波の性質として重要な、干渉(重ね合わせの原理)、回折、屈折、反射などについても学ぶ。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。
12	音波と知覚	音波は(空気とは限らない)物質の疎密波である。まず様々な物質中の音の速さや温度依存性を学ぶ。音波も波であるから、波の特徴である干渉・反射・屈折・回折という性質を有する。これらの特徴が音のどのような性質として現れるかについて学び、さらに日常でも確認できるドップラー効果について学ぶ。これらの物理刺激を人間がどのように捉えるかを法則としてまとめたウエーバ・フェヒナーの法則を学び、デシベルの考え方を理解する。また音の物理的性質と人間の感じる音の性質の違いについて触れる。	本時の復習として、音波とはどのような波であるか確認すること。また波の性質がどのように現れているか確認すること。さらにウエーバ・フェヒナーの法則の意味を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。
13	光	日常にありふれている光は、突き詰めると極めて難しい対象である。ここでは、まず光の波の側面に着目し、光は電磁波であり、横波であることを理解する。電磁波はその波長(あるいは周波数)によって特性が大きく異なることから、波長・周波数に対応する用途について学ぶ。さらに波の性質である回折・干渉・屈折・反射が光の性質としてどのように現れるか学ぶ。特に光では全反射と呼ばれる現象が見られることを理解し、これらの波の性質を実験を通して理解することとする。また光が横波であることから、光には偏光と呼ばれる光が存在する。偏光とはなにか、偏光板を用いて理解する。	本時の復習として、光がどのような波であるか確認すること。また波長と周波数(振動数)が1対1に対応することを理解しておくこと。加えて波の諸性質について整理しておくこと。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
14	光のスペクトル	<p>波長あるいは周波数に対する光の強度分布を(光の)スペクトルと呼ぶ。スペクトルは光源毎に異なっているため、スペクトルからどのような光源から放たれた光であるか、光源の移動速度はどの程度であるかといった事について判断できる。ここではスペクトルの概念を理解する。理解を深めるために分光器を作成し、太陽光や蛍光灯の光などのスペクトルを確認する。</p>	<p>本時の復習として、スペクトルとは何かを確認すること。また連続スペクトルと線(離散)スペクトルの違いを確認しておくこと。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。</p>
15	課題2	<p>これまでの内容理解を確認するための課題を行う。課題実施後にこれまでの内容について整理する。</p>	<p>本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。</p>

<b>科目名</b>	国語表現法	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 4単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 4単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 4単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 4単位 必修
<b>担当教員</b>	真船 均		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 J・ジョイス『ダブリナーズ』（翻訳）を読解し、学術論文の書き方を学ぶ。国語力同様英語力も向上する。 ①英文学の文章（和訳）の読解 ②小論文の書き方の演習</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 シェイクスピア作『ハムレット』とジェイン・オースティン作『エマ』の文章（共に和訳）を読解し、小論文作成の演習を重ね、文章技術を習得する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 授業の目的・ねらいを達成し、80点以上の評価を得られるようにする。</p>		
<b>達成目標</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 読解力をつけながら学術論文執筆技術を習得する。 ①英文学の文章（和訳）の読解 ②小論文の書き方の演習</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 シェイクスピア作『ハムレット』とジェイン・オースティン作『エマ』の文章（共に和訳）を読解し、小論文作成の演習を重ね、文章技術を習得する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 授業の目的・ねらいを達成し、80点以上の評価を得られるようにする。</p>		
<b>受講資格</b>	人間生活学科、食物栄養学科 1年	<b>成績評価 方法</b>	①課題60点（15点×4回） 期末試験40点 ②期末試験40点
<b>教科書</b>	担当者が準備する。		
<b>参考書</b>	特になし。		
<b>学生への要望</b>	授業へは積極的に関わり、提出物の提出を怠らないようにして下さい。		
<b>オフィスタイム</b>	月曜1限前後と水曜5限前後、教務部非常動控室。		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	授業説明、論文構成説明	授業の進め方と評価方法を説明する。論文構成（序論・本論・結論）の二分法を説明する。	0
2	「姉妹」読解	『ダブリン市民』1作目「姉妹」を読解する。	0
3	論文の構成	リサーチ・ペーパーの構成を解説する。	0
4	「出会い」読解	2作目「出会い」を講読する。	0
5	論文の構造	5段落論文構造を解説する。	0
6	「イーヴリン」読解	3作目「イーヴリン」を読解する。	0
7	「序論」の書き方	「序論」の書き方を解説する。	0
8	「イーヴリン」再読	「イーヴリン」の内容を精読する。	0
9	「序論」提出、「本論」と	3作の中から1作を選択し「序論」を書き提出する。	0
10	「イーヴリン」討論	「イーヴリン」討論会を開催する。	0
11	「結論」の書き方	「結論」の書き方を解説する。	0
12	「二人の伊達男」読解	「二人の伊達男」討論会を開催する。	0
13	「序論」解説	学生の提出「序論」を使用し解説する。	0
14	「下宿屋」読解	「下宿屋」討論会を開催する。	0
15	「要約」とは	学術論文における「要約」について解説する。	0
16	「すこしの雲」読解	「すこしの雲」討論会を開催する。	0
17	「短縮」とは	学術論文における「短縮」について解説する。	0
18	TVドラマ『ながらえば』鑑賞	人間生活をテーマとする老夫婦の愛情物語を鑑賞する。	0
19	「本論」提出、「結論」と	3作の中から1作を選択し「本論」を書き提出する。	0
20	TV『カネミ油症事件』鑑賞	「結論」の書き方を解説する。 食物栄養をテーマとする事件のTVドキュメンタリーを鑑賞する。	0
21	「引用」とは	学術論文における「引用」について解説する。	0
22	「対応」読解	「対応」討論会を開催する。	0
23	「本論」提出、「剽窃」と	2作のTV放映作品から1作を選択し「本論」を書き提出する。	0
24	「土」読解	学術論文における「剽窃」を解説する。 「土」討論会を開催する。	0
25	「学術論文チェック」とは	「学術論文チェックリスト」について解説する。	0
26	「結論」提出、「本論」解	2作の中から1作を選択し「結論」を書き提出する。	0
27	「議論」とは	学生の提出「本論」を使用し解説する。 学術論文における「議論」文を解説する。	0
28	「死者たち」読解	「死者たち」討論会を開催する。	0
29	「結論」解説	学生の提出「結論」を使用し解説する。	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
30	学習の振り返り	学習全体を振り返り不足分を補い、到達目標が叶えら れるようにする	0

平成31年度

<b>科目名</b>	総合英語 I	<b>対象 単位数 必修</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	J・ティルマント		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>このクラスの目的は、実践的なアプローチをとることによって、書く事、話す事、両方において学生に英語を使う上で、自信をもたせることです。学生は、リスニングと読解の学習のみではなく、グループで自分自身の言葉で会話とコミュニケーションを創作します。学生は、これまでのクラスで勉強した英語を、会話の中で、どのように使用するかその方法を学習します。</p> <p>Items for use in course evaluations:</p> <p>① Understanding of the theoretical underlying goals and methods of communication.          ② Developing abilities in initiating, continuing and expanding spoken and written communications.          ③ Gaining self-confidence leading to improved communication abilities</p>		
<b>達成目標</b>	<p>授業は二つのパートから構成される。一つはリスニングの練習、A.V.なども使用する。二つの目は会話の練習である。学生は独自の英語による会話を創作し発表する。トピックは、自己紹介、趣味、時間と曜日、買い物、外食、旅行、仕事などである。その他として、ビデオ観賞、小テストなど予定している。</p>		
<b>受講資格</b>	大1年 A・B家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択	<b>成績評価 方法</b>	合計で100になるように、Class work and listening tests 40% presentations 50% 出席率 10%
<b>教科書</b>	TBA		
<b>参考書</b>	(none)		
<b>学生への要望</b>			
<b>オフィスタイム</b>	any time I am on campus - usually Tuesday and Wednesday, or john_kgc@hotmail.com		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	0
1	Introduction	授業内容についての説明 / 一般的な発音とコミュニケーションの基礎について	0
2	Nice To Meet You	Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software	0
3	Favorites	Which Do You Like Best 会話練習: 私の好きなもの	0
4	Review	第1回リスニングテスト (p5-6)	0
5	Times	When Are You Openリスニング: 時間の尋ね方と答え方 / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software (p9-10)	0
6	What Time is the Movie	会話練習: 何時からはじまりますか (何時から開きますか) / 今夜の予定はありますか (p.11-13)	0
7	Review	第2回リスニングテスト (p9-13)	0
8	How Much is This	Shapping: リスニング: これはいくらですか (買い物) / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software (p19-20).	0
9	I'll Take It	会話練習: それをください.	0
10	Review	第3回リスニングテスト (p19-23)	0
11	Let's Eat	リスニング: 外食へ (p24-25) / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software.	0
12	Ready to Order	会話練習: 注文する (p26-27).	0
13	Your Turn	Students begin to prepare an original short skit, or scene, in English, based on the material on pp24-25, that they will present to the rest of the class.	0
14		Presentation practice	0
15	Show Time	Student presentations of original skits or	0

平成31年度

<b>科目名</b>	総合英語Ⅱ（ベーシック）	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	安田 純子		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増してきています。本講座では、英語の理解力を高めた理解力を高め総合的な基礎力を養います。基本テキストは「音読で学ぶ基礎英語」として「ペアワーク」の練習法や音読筆写を取り入れ、各種テーマ（話題）にそって文法事項を学び基礎的な英語力アップを目指す総合英語テキストです。		
<b>達成目標</b>	①平易な英語の文章（英検3級程度）を読んでおおよその意味を把握できる。 ②①レベルの英語を聞いておおよその意味を把握できる。 ③基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。		
<b>受講資格</b>	・大学2年生以上で総合英語Ⅰの単位が認定されていること。	<b>成績評価 方法</b>	試験50%、レポート50%
<b>教科書</b>	Let's Read Aloud & Learn English on Campus [SEIBD0]		
<b>参考書</b>	英語辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものを薦めます。		
<b>学生への要望</b>	Students are advised not to miss any class.		
<b>オフィスタイト</b>	Monday and Thursday 1:00pm-4:30pm My Office (Sougakukan Room No. 1)		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	Class Introduction	・ Explanation (Contents, The meaning of learning of English, course purpose and exposed goals, evaluation details) ・ Contents (テキストの目次から)	Small Test の準備 60
2	Small Test①②	Small Test①②	Small Test の復習 40
3	Unit1	What's your major? 文法— (be動詞) 話しかける・自己紹介する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回) 90
4	Unit2	How do you like your new school? 文法— (一般動詞—現在形) 人を誘う・別れ際の挨拶 Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回) 90
5	Unit3	Let me introduce a new member to you. 文法— (一般動詞—過去形) 人を紹介する・驚きを示す Warm-up, Let's Listen, let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回) 90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
6	Unit4 how was your Golden Week? 文法一 (未来形) 予定を述べる・説明する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
7	Unit5 I'm looking for a part-time job. 文法一 (進行形) 詳細を尋ねる・理由を述べる Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
8	Unit6 What do you call this in Japanese? 文法一 (受動態) 意向を尋ねる・好みを述べる Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
9	Unit7 Have you been there? 文法一 (現在完了形) 経験を尋ねる・提案する Warm-up, Let's Listen, Let's check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
10	Unit8 Could you tell me how to get there? 文法一 (助動詞) 道順を尋ねる・感謝する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
11	Unit9 What do you want me to do? 文法一 (不定詞) 問題点を述べる・依頼する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
12	Unit10 I'm on a tight budget. 文法一 (関係詞) 理由を述べる・理解を示す Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
13	Unit11/Exam Prep1	What do you think of this program? 文法一(形容詞・副詞) 意見を尋ねる・励ます Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write) Pre session for Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)
14	Unit12/Exam Prep2	I'm reviewing what I studied. 文法一(接続詞・前置詞) 近況を尋ねる・確信する Warm-up, Let's Listen, Let's check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write) Pre session for Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)
15	Examination / Explanation for Examination / Total Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Examination</li> <li>• Explanation for Examination</li> <li>• Total Review</li> </ul>	Examinationの準備 全体の復習とまとめ

平成31年度

<b>科目名</b>	総合英語Ⅱ（アドバンス）		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	<p>A. All the lessons for this subject, "Comprehensive English II," are conducted entirely IN ENGLISH.          B. Students will frequently participate in active learning activities.          B. Students will express various information in self-introductions.          C. Describe hometowns and famous places there.          D. Talk about your daily activities using frequency adverbs.</p>			
<b>達成目標</b>	<p>1. The main objective for "Comprehensive English II" is to improve all 4 English skills (reading, writing, listening and speaking) with a focus on English communication and listening.          2. Students will learn how to self-evaluate their progress and coursework, ways to improve their abilities in the 4 skills, on homework, quizzes, and worksheets.          3. Students will interact in an active learning environment where they frequently express their thoughts and opinions through pair work, groups discussions and presentations.</p>			
<b>受講資格</b>	大2年 総合英語Ⅱの履修には、総合英語Ⅰの単位認定とその得点が70点以上を必要とします。	<b>成績評価 方法</b>	<p>1. Participation, Attitude (10%)          2. Quiz, Coursework (40%)          3. Final Written Test (50%)</p>	
<b>教科書</b>	(none)			
<b>参考書</b>	Prints and coursework materials made by the instructor, Daniel O. Horner.			
<b>学生への要望</b>	<p>1. Please attend all classes and be active learners!          2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own.          3. Always do classwork, coursework and listening exercises.          4. Study hard for the quiz and final test.</p>			
<b>オフィスタイム</b>	Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), and by Appointment, 創学館4F No.3 研究室.			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	Introduction to "Comprehensive English 2"	Instructor will introduce the goals and requirements for this subject. The grading system will be explained. Then an outline of the themes for this semester will be provided. Active Learning: Do an interview activity to find out classmates' hometowns, future occupations, nationalities, etc.	Preparation Review 120
2	Self-Introductions, Unit 1	Students will give self-introductions in an interactive environment. Unit 1 - Students will learn phrases used when shopping at a mall, and then use those phrases in active learning shopping skits. Active Learning: Give self-introductions in small groups, and perform shopping skits in pairs.	Preparation 120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
3	Units 2 and 3 - United States Currency and Fast Food Restaurants	Students will learn about American currency (money). Then they will use the currency to do role-playing exercises at fast food restaurants. Active learning: Role-playing at restaurants using props (menu, American money, etc.) and appropriate English.	Review 90
4	Unit 4 - Home Sweet Home	Students describe their hometowns, talk about experiences abroad, and take a questionnaire about daily activities called, "Can you live without it?" Active learning: Share information about hometowns and travel experience in pairs.	Prepare essay on hometown. 120
5	Unit 5 - I Want to be Diligent!	Students first learn phrases to describe desirable and undesirable personalities. They will listen to descriptions of people from other countries. Finally they will give their opinions on stereotypes of people around the world. Active Learning: State opinions of people around the world in small groups.	Review 90
6	Unit 6 - How often do you study English?	Students will be taught adverbs of frequency. They will also talk about their hobbies in a communicative activity. Active Learning: Interview all classmates about their hobbies.	Review 120
7	Unit 7 - World's Worst/Best Cook	Learn phrases to describe cooking abilities, describe their own cooking abilities, and talk about their favorite foods to cook and favorite foods to eat. Active Learning: Group discussions on what foods are healthy and unhealthy.	Review all materials and study for quiz. 150

-授業内容とスケジュール-

回	項目		授業内容	
8	Unit 8 - Guess what happened!	Friends talk about their unexpected good luck experiences. Talk about lucky and unlucky events in a board game activity. Take quiz No. 1. Active learning: Play an interactive board game with classmates.	Review	120
9	Unit 9 - Internet ESL Activities (Part 1)	Students will enter an ESL Internet website that introduces them to a variety of challenges in the areas of cultural knowledge, vocabulary quizzes, and states in the USA, e.g., Wisconsin. Active Learning: Use interactive Internet websites to learn more English and challenge themselves.	Preparation	90
10	Unit 10 - Internet ESL Activities (Part 2)	Students will continue to explore the ESL website. In pairs, they will focus on the TOEFL exercises. Then each student can individualize her learning by choosing areas on the website that apply to her personal interests. Active Learning: In pairs, quiz each other on English on ESL websites featuring proficiency tests, e.g., the TOEFL and EIKEN.	Review	120
11	Unit 11 - Travel Agency Role-Playing	Students will first learn about the history, culture and historic places in Florida State, USA. Then in pairs, one student will act as an agent in a travel agency, and the other student will act as a customer asking about Florida. Active Learning: Role-playing at a travel agency.	Review	90
12	Unit 12 - The Dream Vacation	Students gather information on a country and places they would really like to visit. Then in small groups, they share that information with other classmates. Active learning: Presentations in small groups about places they want to visit.	Preparation	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
13	Unit 13 - I want to be a superhero. Students express hopes and desires for the future.	Students state dreams and talk about their future jobs. Active Learning: Students share 5 wishes for the future in small groups (3 of the wishes are granted by a "genie in a bottle").	Review 90
14	Unit 14 - My Life: Major Events in my Lifetime	Students complete a comprehensive compilation of the entire coursework to present to their teacher to review for the final test. Active Learning: Students give presentations on the key points they gleaned from this lessons this year.	Prepare for final test. 120
15	Unit 15 - Biographies and Memorable Events, Test Review	Students express memorable events from their lives. Students and instructor will do a comprehensive review for the final test. Active Learning: Students quiz each other in pairs about coursework form this past year.	Study, review and prepare for final test. 240

<b>科目名</b>	実用英語 I	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	Practical English I Course Outline: A. Students participate in active learning exercises in every lesson. B. Use practical English to express various personal information including pastimes, family information, travel destinations, preferences and personal abilities. C. Recite dialogues in English pertaining to practical English and everyday life. D. Participate in group discussions to demonstrate conversational proficiency. E. Learn about the foods and cultures of other countries.		
<b>達成目標</b>	1. The main objective is to improve all English skills with a focus on everyday, practical English. 2. Students discover how being active learners can make them truly proficient in English. 3. Students will learn how to self-evaluate their coursework and ways they can improve all 4 skill levels inside and outside of class. 4. An additional goal is to be able to express cultural information about Japan and other countries in English.		
<b>受講資格</b>	大1年	<b>成績評価 方法</b>	1. Participation, Attitude (10%) 2. Quiz, Coursework (40%) 3. Final Written Test (50%)
<b>教科書</b>	"Smart Choice" Level 3 (3rd Edition) by Ken Wilson and Thomas Healy. Publisher: OXFORD The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook can be used for both 実用英語 I and 実用英語 II.		
<b>参考書</b>	Prints made by instructor, Daniel O. Horner		
<b>学生への要望</b>	1. Please attend all classes, be active learners and don't worry about making mistakes. 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. 3. Always do classwork, coursework and listening activities. 4. Study hard for the quiz and final test.		
<b>オフィスタイム</b>	Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), and by Appointment, 創学館 4F No.3 研究室.		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	Quest No. 1	Lesson 1 - Personal Interests: Students will express personal interests and hobbies to classmates. An interview game will allow them to know other class members. Active learning: Interview classmates to ask about names, hometowns, nationalities and future occupations.	Review quest 1. 120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
2	Quest No. 2	Lesson 2 - Family Descriptions and Personalities: An extension of lesson 1. Students will describe physical characteristics and personalities of family and friends. Active Learning: In pairs, students talk about and describe family members.	Review 90
3	Quest No. 3	Lesson 3 - Abilities: Students develop their own conversations to learn and discuss personal abilities. Students will be encouraged to demonstrate those abilities during presentations of the conversations. Active Learning: Students give presentations about their personal abilities in groups.	Review 120
4	Quest No. 4	Lesson 4 - Daily Routines: Phrases are introduced that allow students to talk fluently about their daily routines and routines on the weekends. Students will complete a journal entry about a "terrible day" they have had in the past. Active Learning: Students share their journal entries about a terrible day in small groups.	Preparation 120
5	Quest No. 5	Lesson 5 - About Yesterday: Students will speak about the past and past activities. They will also become proficient at using the interrogative, e.g. "Did you go swimming ~?" and "Were you late for ~?" Active Learning: In pairs, students ask each other about activities they did the previous weekend.	Review 90



-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	Quest No. 11	Lesson 11 - Clothes and Fashion: Identify clothing and current fashion trends. Students will first identify the names and origins of a variety of clothing. Then in groups of 3, they will discuss what is in fashion and what is out of fashion. Finally, students will demonstrate how they choose and buy clothing and accessories. Active Learning: Discussions in groups of 3 students.	Review 120
12	Quest No. 12	Lesson 12 - Popular Music: Casual conversations about popular music. Students will continue to expand their use of English expressions by learning how to properly start conversations and continue them, for example, by talking about such subjects as music preferences. A video clip pertaining to this will be viewed. Students will be encouraged to share samples of music they recommend. Active Learning: Share musical preferences in small groups.	Review 90
13	Quest No. 13	Lesson 13 - Personal Spending Habits: Through an Internet video, students learn about and how to express ways they spend and handle money. Topics of "spending addictions" and "balancing a budget" will be addressed. Active Learning: In small groups, students will make presentations in front of the class about 1 of the aforementioned topics.	Review 120
14	Quest No. 14	Lesson 14 - Housing and Pets: Students will consider designs and locations of future apartments and houses. Advantages and disadvantages of various options will be discussed. Review for final examination. Active Learning: Group discussions on optimal houses and living conditions.	Preparation 90
15	Quest No. 15	Lesson 15 - Nutrition and Healthy Lifestyles: Healthy and unhealthy lifestyles will be explored. Through small group discussions and the use of Venn diagrams, students will ascertain what the commonalities with other classmates are in their lifestyles. Note: A Venn diagram shows all possible logical relations between a finite collection of different sets. Final review for the examination. Active Learning: Small group discussions of healthy lifestyles, and pair work where students quiz each other on all materials covered this past year.	Study, prepare and review for final test. 240

<b>科目名</b>	実用英語 I		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	安田 純子			
<b>開講期</b>	後期			
<b>授業概要</b>	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増してきています。本講座では、日常生活における基礎的な英語の理解力を高め英語での表現力を総合的に習得することを目標とします。バランスのとれた英語力習得のために不可欠な文法・語法の着実な理解と英語を聞き話すための耳と口を鍛えます。			
<b>達成目標</b>	①平易な英語の文章（英検3級レベル程度）を読んでもおおよその意味を把握できる。 ②①レベルの英語を聞いておおよその意味を把握できる。 ③基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。			
<b>受講資格</b>	受講資格 人間生活学科1年・食物栄養学科1年以上	<b>成績評価 方法</b>	成績評価方法 試験50%、レポート50%	
<b>教科書</b>	教科書 Let's Read Aloud & Learn English [SEIBIDO]			
<b>参考書</b>	参考書 英和辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものをすすめます。			
<b>学生への要望</b>	学生への要望 Students are advised not to miss any class.			
<b>オフィスタイム</b>	オフィスタイム Wednesday 2:30pm -4:30pm and Friday 1:00pm-4:30pm My Office (Sougakukan Room No.1)			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	Class Introduction	<ul style="list-style-type: none"> <li>Explanation (Contents, The meaning of learning of English, course purpose and exposed goals, evaluation details)</li> <li>Contents (テキストの目次から)</li> </ul>	small test の準備	60
2	Small Test①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>Small Test①②</li> </ul>	small test の復習	40
3	Unit1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Pleased to meet you. -出迎え</li> <li>会話一人を紹介する表現</li> <li>文法—be動詞</li> <li>*WAME-UP (Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!</li> </ul>	WAME-UP (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回)	90
4	Unit2	<ul style="list-style-type: none"> <li>DO you remember me? -ケイトとの出会い</li> <li>会話—仕事を尋ねたり、説明したりする表現</li> <li>文法—一般動詞の現在形</li> <li>*WAME-UP (Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!</li> </ul>	WAME-UP (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回)	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
5	Unit3	<p>・I spoke to Ms. Hayashi yesterday. -苦情対応                      会話—謝罪をしたり、相手の意向を尋ねたりする表現                      文法—一般動詞の過去形                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写 (3回)</p> <p align="right">90</p>
6	Unit4	<p>・Whendoes the meeting start?-会議の準備                      会話—場所や時間を尋ねる表現                      文法—疑問詞を使った疑問文                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写 (3回)</p> <p align="right">90</p>
7	Unit5	<p>・Can you meet me at the airport?-出張打ち合わせ                      会話—依頼する際に使われる表現                      文法—助動詞                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写 (3回)</p> <p align="right">90</p>
8	Unit6	<p>・Feel free to ask me anytime. -使用法説明                      会話—使い方を説明する表現                      文法—文の種類と命令文                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写 (3回)</p> <p align="right">90</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
9	Unit 7	<p>・I'm thinking about quitting my job.-仕事の悩み                      会話-相談したり、励ましたりする表現                      文法-進行形                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>90                      *WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写(3回)</p>
10	Unit8	<p>・I'll give her your message.-電話対応                      会話-聞き返したり、確認したりなど、電話対応で                      よく使われる表現                      文法-未来形                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>90                      *WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写(3回)</p>
11	Unit9	<p>・I haven't received the latest figures.-会議の                      準備                      会話-状況を確認したり、作業を指示したりする表                      現                      文法-現在完了形                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>90                      *WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写(3回)</p>
12	Unit10	<p>・The cafeteeria is closed today.-オフィス案内                      会話-場所を聞いたり説明したりする表現、感情を                      表す表現                      文法-受動態                      *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point),                      LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!,                      GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S                      READ ALOUD &amp; WRITE!</p>	<p>90                      *WAME-UP(Vocabulary Preview,                      Grammar Point)                      Assignment (LET'S READ ALOUD &amp;                      WRITE!) 音読筆写(3回)</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
13	Unit11/ Exam Prep1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ We expect higher sales in China.-会議 会話—比較したり、詳細を尋ねたりする表現 文法—比較</li> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!</li> <li>・ Pre session for the Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!) 音読筆写 (3回)</li> </ul>	90
14	Unit12/ Exam Prep2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I'd like to check in.-チェックイン</li> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!</li> <li>・ Prep session for the Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!) 音読筆写 (3回)</li> </ul>	90
15	Examination / Explanation for Examination / Total Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Examination</li> <li>・ Explanation for Examination</li> <li>・ Total Review</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Examination の準備</li> <li>・ 全体のまとめと総復習</li> </ul>	120

<b>科目名</b>	実用英語Ⅱ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー			
<b>開講期</b>	後期			
<b>授業概要</b>	Practical English II Outline: A. All the lessons for this subject, Practical English II, are conducted entirely IN ENGLISH. B. Students learn high level practical English in an active learning environment. C. Students learn about various subjects including family descriptions, personal preferences, healthy lifestyles, future careers, daily schedules and role models. D. Recite dialogues in English pertaining to practical English and everyday life. E. Learn about the foods, cultures and customs of other countries.			
<b>達成目標</b>	1. The main objective is to improve all 4 English skills with a focus on everyday, practical English. 2. The 2nd objective is for students to dramatically improve their English proficiency through active learning such as reciting English dialogues and giving performances in front of the class. 3. An additional goal is to be able to express cultural information about Japan and other countries.			
<b>受講資格</b>	大2年	<b>成績評価 方法</b>	1. Participation, Attitude (10%) 2. Quiz, Coursework (40%) 3. Final Written Test (50%)	
<b>教科書</b>	"Smart Choice" Level 3 (3rd Edition) by Ken Wilson and Thomas Healy. Publisher: OXFORD The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook can be used for both 実用英語 I and 実用英語 II.			
<b>参考書</b>	Prints made by instructor, Daniel O. Horner			
<b>学生への要望</b>	1. Please attend all classes and be an active learner! 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. 3. Always do classwork, coursework and listening exercises. 4. Study hard for the quiz and final test. 5. 実用英語 I is NOT NEEDED to take 実用英語 II.			
<b>オフィスタイム</b>	Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), and by Appointment, 創学館 4F No.3 研究室.			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	Quest No. 1	Introduction to "Practical English II." Express basic information about yourself, e.g., hobbies, family, favorite foods, university life, dreams, etc. Active Learning: Do an interview to ascertain personal information about classmates.	Preparation 120
2	Quest No. 2	Family Descriptions and Personalities: Students will describe physical characteristics and personalities of family members and friends. Students will also describe the British Royal Family. Active Learning: Do pair work to ascertain information about classmates' families.	Review 90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
3	Quest No. 3	Musical Preferences: Students will describe their musical preferences, learn about the origins of a very famous musical group, and watch a short video about the musical group. Active Learning: Talk about your favorite genres of music and favorite musicians in small groups.	Review 90
4	Quest No. 4	Healthy Lifestyles: Students learn about healthy and unhealthy lifestyles, talk about foods they cannot live without, and describe their cooking habits. Active Learning: Students give presentations on the 3 topics discussed today in front of the class.	Review 90
5	Quest No. 5	A Quiet Life: Students read about a "Dream Place" in a peaceful country setting. Then students will describe their own hometowns and famous places there. Finally, students will describe the places where they want to live in the future. Active Learning: In small groups, students describe optimal places and homes they want to live in.	Preparation 120
6	Quest No. 6	My Company: Students explore different kinds of companies to work for and compare them to each other. Students also write a personal job description with one of those companies. Active Learning: Post job descriptions on the Internet.	Review 120
7	Quest No. 7	Social Media: Discuss the types of social media the students currently use, some of the advantages and disadvantages of this media, and make predictions about the future of social media. Active learning: Share in small groups the social media and ESL websites students use.	Review all materials and study for quiz. 150
8	Quest No. 8	World Currency: Students will learn about the currency (money) in several countries, how to convert one currency to another, and use the currency to go shopping in stores and eat at restaurants. Active Learning: In small groups, students determine the correct amount of coins and banknotes needed to buy numerous objects. Students take quiz No. 1.	Review 120
9	Quest No. 9	Traveling Abroad: Students will learn about famous places in the United States and Great Britain. Then they will research some in-depth information about places they would like to visit. Finally, they will make presentations about these places to their classmates. Active Learning: Presentations in front of the class on places students want to travel to.	Review 90
10	Quest No. 10	How to Spend Weekdays and Weekends: Students will take a survey about how they spend time on the weekends, ask their classmates about their daily schedules, and then describe their daily life during a presentation to the class. Active learning: Interview classmates about weekend activities, and make presentations about those findings to the class.	Preparation 120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	Quest No. 11	Students will learn about an ESL website that utilizes current technology in an interesting way to teach all aspects of English. Students can individualize the type of learning they want to do on this website. Active learning: Students create individualized learning plans (ILP) related to Internet-based learning.	Review 120
12	Quest No. 12	Sharing Current Technology for Learning English: Students will make a short presentation about the current technologies they are using to enhance their learning of English. Then students can try all the technologies shared by their classmates in their presentations. Active Learning: Presentations to the class on current technologies used to enhance learning of English.	Review 90
13	Quest No. 13	Staying Healthy: Students will learn about common illnesses and ways to stay healthy. They will also learn about habits they have that are harming their health. Active Learning: Students perform skits to teach about common sicknesses and ailments.	Write ways to stay healthy. 120
14	Quest No. 14	Role Models: Students describe the people in their lives they most respect. Students research some of the most respected people in the world. They will also share how their role models will affect them in the future, including affects on their careers and family life. Active Learning: Presentations in small groups about role models in students' lives.	Preparation 120
15	Quest No. 15	Dreams and Test Review: Students will state succinctly their dreams for the future, including personal dreams, career ones, and hopes about families. Students will do a comprehensive review for the final test. Active Learning: Students quiz each other in pairs about the coursework from this past year.	Study, review and prepare for final test. 240

<b>科目名</b>	実用英語Ⅱ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ポール パーナミィ			
<b>開講期</b>	後期			
<b>授業概要</b>	<p>PREREQUISITES FOR THIS CLASS: Students will have completed 実用英語I. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as likes and dislikes. They also should be able to give basic personal and family information.</p> <p>EVALUATIONS FOR THIS CLASS: 1. The lessons for this subject, Practical English II, are conducted entirely in English. 2. You should be able to give a short clear self-introduction. 3. You should be able to read smoothly and understand a short passage. 4. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.</p>			
<b>達成目標</b>	<p>GOALS OF THIS CLASS: 1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. 2. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.</p>			
<b>受講資格</b>	大学2年	<b>成績評価 方法</b>	<p>1. Active, Enthusiasm (20%) 2. Quizzes, Homework (30%) 3. Final Cumulative Test (50%)</p>	
<b>教科書</b>	Tune In 1 by Jack C. Richards & Kerry O'Sullivan			
<b>参考書</b>	Oxford University Press 2006			
<b>学生への要望</b>	<p>Don't miss class. Be attentive. Do regular listening of your audio files. Study 120 minutes of homework each class. Review all material including textbook and quiz material.</p>			
<b>オフィスタイム</b>	<p>Room 837: Tuesday or Thursday, 13:00~17:00 時間：火・木の 13:00~17:00 時限 場所：83年館 3F 837研究室</p>			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	Introduction to class	Unit 1---Meeting People---Nice to meet you. Pages 2-4 Teachers CD 1-6 Explain Textbook, Tests, Quiz, Active English Explained, External Supplement Explained. Homework, Attendance, etc.	Review the textbook. Read through pages 2-4. Listen to tracks 3 & 4.	120
2	Unit 1	Unit 1---Meeting People---See you later. Pages 5-7, Teachers CD 7-10.	Review the textbook. Read through pages 5-7. Listen to track 4.	120
3	Unit 1	Unit 1---Meeting People---Review Pages 2-7, Teachers CD 5-6. Quiz, Active English, External Supplements.	Review the textbook. Read through pages 2-7. Listen to tracks 3 & 4. Review supplements.	120
4	Unit 2	Unit 2---Communicating---What's your e-mail address? Pages 8-10, Teachers CD 11-15. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 8-10. Listen to audio track 5. Review Supplements. Review returned quiz.	120
5	Unit 2	Unit 2---Communicating---May I speak to Tony, please? Pages 11-13, Teachers CD 16-19. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 11-13. Listen to audio tracks 5 & 6. Review Supplements. Review returned quiz.	120
6	Unit 2	Unit 2---Communicating---Review Pages 8-13 CD 11-19. Quiz, Active English, External Supplements.	Review the textbook. Read through pages 8-13. Listen to audio tracks 5 & 6. Review Supplements. Review returned quiz.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
7	Unit 3	Unit 3---Telling Time---What time do you get up? Pages 14-16, Teachers CD 20-23. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 14-16. Listen to audio track 7. Review Supplements. Review returned quiz. 120
8	Unit 3	Unit 3---Telling Time---Are you free on Friday night? Pages 17-19, Teachers CD 24-27. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 17-19. Listen to audio track 8. Review Supplements. Review returned quiz. 120
9	Unit 3	Unit 3---Telling Time---Review Pages 14-19, Teachers CD 20-27. Quiz. Active English. External Supplements.	Review the textbook. Read through pages 14-19. Listen to audio tracks 7 & 8. Review Supplements. Review returned quiz. 120
10	Unit 4	Unit 4---Shopping---How much does it cost? Pages 20-22, Teachers CD 28-31. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 20-22. Listen to audio track 9. Review Supplements. Review returned quiz. 120
11	Unit 4	Unit 4---Shopping---It' s just what I need! Pages 23-25, Teachers CD 32-35. Quiz.	Review the textbook. Read through pages 23-25. Listen to audio track 10. Review Supplements. Review returned quiz. 120
12	Unit 4	Unit 4---Shopping---Review Pages 20-25, Teachers CD 28-35. Quiz. Active English. External Supplements.	Review the textbook. Read through pages 20-25. Listen to audio tracks 9 & 10. Review Supplements. Review returned quiz. 120
13	Unit 5	Unit 5---Dates & Events---When' s your birthday? Pages 26-28, Teachers CD 36-39.	Review the textbook. Read through pages 26-28. Listen to audio track 11. Review Supplements. Review returned quiz. 120
14	Unit 5	Unit 5---Dates & Events---So when was that? Pages 29-31, Teachers CD 40-43.	Review the textbook. Read through pages 29-31. Listen to audio tracks 11 & 12. Review Supplements. Review returned quiz. 120
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz Review, Test Preparation & Review.	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the final test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation. 180

<b>科目名</b>	専門英語（生活）	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	J・ティルマント		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>この授業では、LL教室を利用して、日常の社会生活における基礎的な英語コミュニケーション能力を習得することを目標とする。具体的な達成目標：（1）日常の基本的会話表現の際に必要な語彙を習得できる。（2）日常の基本的会話表現の際に必要なリスニング能力を習得できる。（3）日常の基本的会話表現に必要な発話能力を習得できる。</p> <p>中学・高校で培われた英語力の上に立ち、英語学習の4技能、つまり「リーディング」、「ライティング」、「リスニング」、「スピーキング」のうち、これまであまり学習時間が割かれることのなかった「リスニング力」と「スピーキング力」の向上を目指す。</p> <p>達成目標（1）、（2）、（3）の各項目の理解、および習得状況を把握し、それを評価するために試験を実施する（達成目標（1）、（2）、（3）の評価割合はそれぞれ約30%、約40%、約30%である）。ただし、小テスト、レポート等を評価に加える場合もある。</p> <p>Wednesday Items for use in course evaluations: ① Understanding of the theoretical underlying goals and methods of communication. ② Developing abilities in initiating, continuing and expanding spoken and written communications. ③ Gaining self-confidence leading to improved communication abilities</p>		
<b>達成目標</b>	<p>授業は二つのパートから構成される。一つはリスニングの練習、A.V.なども使用する。二つの目は会話の練習である。学生は独自の英語による会話を創作し発表する。トピックは、自己紹介、趣味、時間と曜日、買い物、外食、旅行、仕事などである。その他として、ビデオ観賞、小テストなど予定している。</p> <p>We will be practicing general English communication, with an emphasis on terms and language students might be expected to used in regular activities that relate to the student's majors.</p>		
<b>受講資格</b>		<b>成績評価 方法</b>	
<b>教科書</b>	TBA		
<b>参考書</b>			
<b>学生への要望</b>			
<b>オフィスタイム</b>	Anytime I am on campus (usually Tuesday and Wednesday), or by e-mail (My address is in the class hand-out print).		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	Class Introduction	授業内容についての説明 / 一般的な発音とコミュニケーションの方法について。 Introduction: General introduction and explanation of class. Introduction to the textbook and ActiveBook.	0
2	Nice to Meet You	Getting Acquainted, Unit 1, pp 2~13: Names, personal information. Pronunciation hints and other verbal tools.	0
3	Introduce Me	Top Notch TV (TNTV) 1 ( Sit-com sketch ) / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software	0
4	Your Turn	Introduce me: Introducing your partner to the rest of the class.	0
5	Going Out	Going Out Unit 2, pp 14~25: Accepting invitations, making plans, times and dates. TNTV 2.1 / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software	0
6	Review	Short quiz on material in unit 2, part one: making plans, getting information, times and dates.	0
7	Locations and directions	Asking for locations and directions. TNTV 2.2 / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software	0
8	Review	Review of Unit 2 through use of CD-ROM.	0
9	Your Turn	How do I get there?	0
10	Eating Out	Ready To Order Unit 4, pp38-49: Eating out, ordering at a restaurant, paying for a meal.	0
11		TNTV: / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software.	0
12	Review	Short quiz based on the material in Unit 4.	0
13	Technology and You	Unit 5, pp 50-61: Talking about brands, features, and characteristics of various electronic products.	0
14		TNTV 4 / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software	0
15	Review	Short quiz based on the material in Unit 5.	0

<b>科目名</b>	専門英語（栄養）	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	Professional English (Nutrition and Dietetics) Course Outline: 1. Be an active learner who participates in pair work, group work, discussions and presentations. 2. Define and describe career and goals. 2. Explore personal careers in detail. 3. Learn terminology and technologies that facilitate professionals in their careers. 4. Take a final written examination to evaluate personal careers and career objectives.		
<b>達成目標</b>	Achievement Goals: ① You should be able to give a detailed self-introduction with information about career choice and goals. ② Read and discuss professional articles specific to your future profession. ③ Achieve a deep understanding of your future goals and career in the context of the 4 English skills.		
<b>受講資格</b>	大学3年	<b>成績評価 方法</b>	1. Participation, Attitude (10%) 2. Quiz, Coursework (40%) 3. Final Written Test (50%)
<b>教科書</b>	Textbook Title: "Career Paths: Nutrition and Dietetics" (Book 1) Authors: Angela Christaki, Jenny Dooley Publisher: EXPRESS PUBLISHING ISBN: 978-1-4715-7672-0		
<b>参考書</b>	Prints and coursework materials made by the instructor, Daniel O. Horner.		
<b>学生への要望</b>	1. Please attend all classes and be active learners during every class. 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. 3. Always do classwork, coursework and listen to the CD. 4. Study hard for quiz and test.		
<b>オフィスタイム</b>	Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), and by Appointment, 創学館4F No.3 研究室.		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	Orientation and Unit 1	Introduction to Class: Explain the course, goals and testing process to the students. Active Learning: Students share in groups their career goals and expectations.	120
2	Unit 1 - Future Careers	Future Careers: Describe potential future careers including advantages and disadvantages. Use the "Adjective Bank" to provide more details about each student's chosen career. Use an online article titled "Professional Career Terminology" to provide in-depth information on terminology used in careers. Active Learning: Students interview each other about their future careers including advantages and descriptions about chosen careers.	120
3	Unit 2-3 Skills and Interests	Students take an online survey to determine specific careers within the realm of dietetics that suit their interests and skills. Students share the results of the survey with classmates. Active Learning: In small groups, give presentations on the results of the survey.	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
4	Unit 4 - Professional Development (PD)	<p>Professional Development: Students will research areas of The Japan Dietetic Association (JDA) including its continuous education system which improves the ability of registered dietitians and dietitians and its professional career development through basic and advanced education. Active Learning: Group discussions about the JDA homepage, <a href="https://www.dietitian.or.jp/english/">https://www.dietitian.or.jp/english/</a>, and how it pertains to their specific career goals.</p>	<p>Research and Review</p> <p align="right">120</p>
5	Unit 5 - Healthy Eating	<p>Explore the various ways that dietitians promote healthy eating in society, including eating well-balanced meals with staple foods main dishes and side dishes, combining various foods, cooking meals in various ways, and combining home-made meals well with eating out, eating processed and prepared foods. Active Learning: Through pair work, students share the current methods they personally use to promote healthy eating in their families.</p>	<p>Preparation</p> <p align="right">120</p>
6	Unit 6 - Unhealthy Eating Habits	<p>Unhealthy Eating Habits: Students state their background knowledge on some of the unhealthy eating habits and the adverse effects of those habits. Then they discuss the contemporary problems facing society as a whole in regards to unhealthy eating habits. Active Learning: In small groups, students share personal information and societal information about unhealthy eating habits.</p>	<p>Review</p> <p align="right">90</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	150
7	Unit 7 - Dietitians' Code of Ethics	Dietitians' Code of Ethics: Nutrition and dietetics practitioners have a code of ethics in the USA. This code has the values and ethical principles guiding the nutrition and dietetics profession. It also sets forth commitments and obligations of the practitioner to the public, clients, the profession, colleagues and other professionals. Active Learning: Through group discussions, students will compare Japan's code of ethics to America's.	Preparation and review for quiz.	150
8	Unit 8 - Typical Meals	Typical Meals: Students view videos and pictures showing typical meals in the USA. Then they state their opinions about the meals. Active Learning: In small groups, students share online pictures of typical meals eaten for breakfast, lunch and supper in the USA, and state their opinions about the nutritional value of the meals. Students take quiz No. 1.	Preparation	120
9	Unit 9 - Nutrition and the Organs	Nutrition and the Organs: Students learn the main organs involved in the digestive process, including the esophagus, stomach, lungs, liver and intestines. They also describe the function of each organ in the digestive system. Active Learning: Students use diagrams of the digestive system to give presentations about the digestive process and the organs involved.	Review	90
10	Unit 10 - Nutrition of Children	Nutrition of Children: Explore the realm of children's nutrition by learning about (1) Balanced diets for children, (2) Their 4 food groups, (3) Energy and body-building foods and (4) Protective foods for children. Students will read articles pertaining to these areas. Active Learning: Presentations in small groups how the nutritional needs of children are different from adults.	Review	120
11	Unit 11 - Healthy Snacks	Healthy Snacks: Students share their knowledge about healthy and unhealthy snacks in Japan and abroad. Statistics on junk food will be compared in Japan and the USA. Active Learning: Presentations to the class about healthy and unhealthy snacks with advice on how to improve personal diets in these two areas.	Preparation	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
12	Unit 12 - Staying Thin	Staying Thin: Students will learn the key expressions to describe "the state of being thin or overweight," and specifically address the dangerous health affliction in the USA called "obesity." Students can brainstorm the reasons for the obesity crisis, and as preprofessionals in dietetics, use their expertise and give advice on how to tackle and solve the problem. Active Learning: Give presentations in small groups on the state of the obesity health crisis and how to solve it.	Preparation 90
13	Unit 13 - Food Labels	Food Labels: Students learn about food labels in the USA. Then they apply that knowledge to a real-life situation. In this situation, dinner guests will arrive at your house in just a few hours, and some of your guests have special dietary restrictions, so you have to locate specific information on food nutrition labels in order to assemble a menu that is appropriate and safe for all of your guests. Active Learning: Role playing to create a menu and dinner for people with dietary restrictions.	Preparation 120
14	Unit 14 -The Future World of Dietetics and Nutrition	Dietetic in the Future. With the aging population and Baby Boomers, there will be a need for more dietitians in the future, and the field of dietetics will inevitably have to evolve and even diversify to accommodate these realities. So students brainstorm ideas and use online resources to "paint a picture" of the world of dietetics and nutrition in the near and distant future. Active Learning: Through group work and presentations, students will research the future of dietetics and report the results and their own predictions to to class.	Review 90
15	Unit 15 and Review	Read from essays including one titled, "Lessons from my first year as a dietitian." This essay and similar ones will give students some real-life "confessions" of dietitians so they know what to expect when embarking on a career in this profession. Active Learning: Students seek answers to specific questions they have about their chosen careers by learning from the testimonials of real dietetic professionals. Review for the final test.	Study, prepare and review for the final test. 240

<b>科目名</b>	運動健康論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	佐藤 浩明		
<b>開講期</b>	通年		
<b>授業概要</b>	<p>生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。</p> <p>①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。          ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。          ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。          ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。</p>		
<b>達成目標</b>	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける		
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 1年 2単位 選択 家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択  ※教職課程履修者は必修	<b>成績評価 方法</b>	平常点30点（取組姿勢） 試験・提出物70点（実技・レポート） ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。
<b>教科書</b>	特になし（必要に応じて資料等を配布します）		
<b>参考書</b>	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：（財）日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」		
<b>学生への要望</b>	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
<b>オフィスタイム</b>	火・木の9:00～16:00まで創学館N04研究室 佐藤		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	30
2	縄跳び①/からだづくりの運動	<p>【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】</p> <p>【到達目標】            * スポーツ種目に必要な技術を習得する            * コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）            ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）            ⑦体育館清掃</p>	30
3	縄跳び②/からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】</p> <p>【到達目標】            * スポーツ種目に必要な技術を習得する            * コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）            ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）            ⑦体育館清掃</p>	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
4	縄跳び③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）                  ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
5	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                  ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
6	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                  ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
7	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                  ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
8	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】                      ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する                      ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                      ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                      ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p align="right">30</p>
9	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】                      ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する                      ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                      ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                      ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p align="right">30</p>
10	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】                      ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する                      ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                      ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                      ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p align="right">0</p>
11	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】                      ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する                      ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                      ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                      ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p align="right">0</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
12	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                  ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
13	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                  ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
14	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*スポーツ種目に必要な技術を習得する</li> <li>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</li> </ul> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム                  ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）⑦体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
15	実技のまとめ	<p>《まとめとして実技試験を行う》</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）                  ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃</p>	<p>ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる</p> <p>30</p>
16	第16回 オリンピックについて	<p>オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。</p>	<p>脈拍130前後の運動を30分以上行う</p> <p>30</p>
17	第17回 生活と健康について①	<p>《健康とは何か》</p> <p>健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。</p>	<p>脈拍130前後の運動を30分以上行う</p> <p>30</p>
18	第18回 生活と健康について②	<p>《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》</p> <p>①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。                  ②運動・休養と健康について学びます。</p>	<p>脈拍130前後の運動を30分以上行う</p> <p>30</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
19	第19回 生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
20	第20回 生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
21	第21回 生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
22	第22回 生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や、普段の行動にも通じるものがあります。ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	《メンタルトレーニング》 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	《目標設定》 スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	《体力とは》 ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。 ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	《エクササイズの方法について》 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス 等）や実施する際のポイントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
28	第28回 コンディショニングについて	《からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法》 ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30
29	第29回 健康的な生活について①	《ライフスタイルについて》 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う 30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
30	第30回 健康的な生活について②	<p>《良い習慣について》</p> <p>行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。</p> <p>※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。</p>	<p>脈拍130前後の運動を30分以上行う</p> <p align="right">30</p>

<b>科目名</b>	情報処理演習		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	石原 正道			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成について学習する。			
<b>達成目標</b>	本演習における達成目標は次の通りとする。 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。			
<b>受講資格</b>	なし。	<b>成績評価 方法</b>	達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は課題1を20%、課題2を40%、課題3を40%とする。	
<b>教科書</b>	イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル、noa出版 (2016)			
<b>参考書</b>	なし。			
<b>学生への要望</b>	授業内容を反復して練習すること。			
<b>オフィスタイム</b>	月曜日 16:10-17:05, 情報処理教育研究室 金曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。 アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえた上で、インターネットを利用する上での注意事項について触れる。	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。また、安全に Email を利用する方法やまたローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。	30
4	課題1	インターネット (ブラウザ・メールなど) の用法について、正しく利用できるか確認をする。また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード <a href="http://www.noa-prolab.co.jp/download/">http://www.noa-prolab.co.jp/download/</a>	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。	20
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。	40

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみる。
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.140までを読んでおくこと。
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでおくこと。
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いてExcel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。	復習として、eLearning Systemを用いてExcel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。
14	課題3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。

<b>科目名</b>	キャリアデザインⅠ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	桑野 聡			
<b>開講期</b>	後期			
<b>授業概要</b>	<p>本学におけるキャリア教育は、「一人一人の社会的自立に向け、生涯を通して自己を磨き続けることができる能力を育成するための教育」と定義されます。本授業では、まず大学生として学ぶ姿勢の基本を身につけることで、「つくる力」(創造力、論理的思考力、表現力)と「かかわる力」(主体的行動力、コミュニケーション能力、倫理・道徳観)という社会で活躍するための基礎力を確認し、主体的に大学生活を送ることで各自のライフキャリアを構築できるようにします。</p>			
<b>達成目標</b>	自分の夢を実現するための具体的な目標をキャリアプランニングの意識を持って自主的にレポートにまとめることができる。			
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	授業時のワークへの取り組み状況(使用教材集提出)と提出物(第6回授業の課題レポートと第14回授業のレポートなど)から「認」評価を判定する。	
<b>教科書</b>	教材集『キャリアデザイン—大学の教養・キャリア教育のスタートをバックアップ!』配布			
<b>参考書</b>	授業中に適宜提示する。			
<b>学生への要望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やインターネットなどのメディアには、有益な進路情報がたくさん掲載されています。定期的に目を通すことで、労働環境や職業社会の実態を把握し、自分の意見を整理してみましょう。</li> <li>・自分自身の進路について、周囲の友人や家族と日常的に話してみましょう。また、身近にいる社会人から仕事や家庭生活に関する話を聞いてみることも、進路を考える上でヒントになります。</li> <li>・就職部の実施する就職ガイダンス・各種模擬試験・インターンシップなどの活動に積極的に参加しましょう。</li> </ul>			
<b>オフィスタイム</b>	全体のコーディネーターは桑野が担当する。 火曜 Ⅱ時限目(10:30~12:00)・金曜Ⅴ時限目(16:10~17:40) 考古学研究室(83年館1階)。 その他、各担当教員の指示に従ってください。			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	オリエンテーション—キャリアデザインの意義と目的 9月13日	本講義の目的・意義・内容・計画を理解した上で、「キャリア」とは何か、「キャリアをデザインする」とはどういうことかを考えます。	自己評価票を真摯に記入し、現時点での自分をよく観察してみましょう。
2	郡山女子大学を知ろう—建学の精神と学園の歴史 9月20日	学園の歴史と建学の精神の基本的な考え方を解説します。	『開成』を読み返し、図書館で『学園史』を手にとったり、集会などで学科のアドバイザーの先生と建学の精神について話し合ってみてください。
3	「つくる力」を育てる(1)—情報を読む力・まとめる力 9月27日	講義から情報を読む力(聴く力・ノートにまとめる力)をトレーニングします。	講義を聞く姿勢、ノートの取り方の基本は同じでも、詳細は科目によって異なります。自分でも工夫を心掛けてみましょう。
4	「つくる力」を育てる(2)—書く力・伝える力の育成 10月4日	レポートの書き方を手掛かりに事実と意見の違いや「きちんと考える」ことの必要性を確認します。	新聞や参考文献、友人や家族と話し合ってみて、レポートの構成を良く考えましょう。
5	「つくる力」を育てる(3)—社会でのパソコン活用マナー 10月18日	メール作成の方法、添付ファイルの方法、パソコンによるレポート作成の方法を基礎から学びます。	パソコンを用いてレポートを書いた後、提出前に必ず読み直しをして「推敲」しましょう。
6	「かかわる力」を育てる(1)—多様なライフコース 10月25日	女性のライフコースの多様な選択肢をワークライフバランスに着目して考えます。	現時点の自分の考えを確認すると共に、家族や友人と意見交換をして、異なる意見に沢山出会ってください。
7	「かかわる力」を育てる(2)—男女の働き方、ワークライフバランスを考える 11月1日	前回の授業を受けて、長いキャリアの中でパートナーや家族と共に生活する上での諸問題を考えます。	男女に拘らず、複数で共同生活することは、私たちの社会生活の基本であることを自覚して、創造力を発揮して話し合しましょう。
8	「かかわる力」を育てる(3)—お金から考えるライフプランニング 11月8日	長いキャリアを生きる中で、私たちは多くのライフイベントを経験し、生活共同体の中での役割を変化させていきます。その時々状況を金銭の面から考えます。	講義の後、自分自身や家族の貯金・保険・年金などについて実際に具体的な話をしてみましょう。
9	「かかわる力」を育てる(4)—働くためのルール 11月15日	労働法の基礎知識から働く上での諸問題への対応方法を考えます。	講義の後、自分自身のアルバイト経験や家族の働き方について話をしてみましょう。
10	「かかわる力」を育てる(5)—アサーショントレーニング① 11月22日	堂々と自分の意見を述べるために必要なアサーションの考え方の基本を学びます。	アサーションは、自分自身が考え納得して行動することが大切です。表面的なテクニックだけでなく、よく自分の内面と向かい合ってみてください。
11	「かかわる力」を育てる(6)—アサーショントレーニング② 11月29日	アサーションの技術を向上させる。I・Youメッセージを学びます。	アサーションは、自分自身を守るだけでなく、相手のことを考えることに繋がります。周りの人とよく話し合ってみましょう。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
12	「かかわる力」を育てる(7) -働くこと、生きることを考える 12月6日	働き続けることを「ライフキャリアの虹」を用いて解説し、職業レディネステストを実施して分析します。	職業レディネステストのワークをよく見直し、職業適性検査やさまざまな情報と比較検討してみましょう。	60
13	総合演習(1) -女性と就業について① 講演 12月13日	素敵な生き方を実践している外部講師による講演を実施します。	講演を傾聴し、講演後はSNSや新聞などで講演者や時代、事件などについて調べてみましょう。もっと多くのモノが見えてきます。	60
14	総合演習(2) -女性と就業について② グループ討論 12月20日	前回の外部講師の講演を踏まえて討論し、レポートを作成します。	半期の授業も終盤です。自分の学びの総まとめとして積極的に討論に参加できるように準備しましょう。	120
15	まとめ -自分のキャリアを創ろう! 1月10日	自己評価票の記入・授業アンケートを実施し、「マンダラチャート」を作成して各自のキャリアプランの作成を試みます。	初回の自己評価票とじっくり比較すると共に、「マンダラチャート」で次の具体的な一歩を明確にしましょう。	60

<b>科目名</b>	キャリアデザインⅡ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 1単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 1単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 1単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 1単位 選択
<b>担当教員</b>	森 みい			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	<p>【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業の自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。</p> <p>【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者をお招きした報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、長く就職指導にあたっています。</p>			
<b>達成目標</b>	<p>【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、今後の学生生活の中に活かしていくことで、新たな学習意欲の契機となることをことを目標とします。仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解、充実感や社会への貢献を感じ取る事を目的とします。</p>			
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	就業体験50%・授業参加30%・報告会10%・提出物10%「認」評価判定	
<b>教科書</b>	なし			
<b>参考書</b>	なし			
<b>学生への要望</b>	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
<b>オフィスタイム</b>	月曜日 9:00～12:30 水曜日 9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	インターンシップの概要 4/18 (Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターン	0
2	インターンシップの心構え 5/16 (Vコマ)	インターンシップの取り組みを動画を見て、ワークを実施しながらインターンシップの考えを深化させていく。(ムビケーションの実施)	0
3	企業研究 (講演) 5/30 (Vコマ)	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、自立した個人として人生をどう生きるかを考えながら、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。	0
4	事前指導 (ビジネス文書作成) 6/27 (Vコマ)	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	0
5	事前指導 (マナー講座) 7/11 (Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先の打合せをする。	0
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/25 (Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	0
7	インターンシップ I 班 8/19～8/23・2班8/26～8/30	各企業において、夏季休業中(8月中旬～下旬)に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	0
8	インターンシップ報告会 9/5 (Iコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	0
9	インターンシップ報告会 9/5 (Iコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	0

平成31年度

<b>科目名</b>	芸術鑑賞講座・教養講座 I		
<b>担当教員</b>			
<b>開講期</b>	通年		
<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 0.5単位 必修		
<b>授業概要</b>	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものである。高度な芸術に接して感動することをもって、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てる。</p> <p>教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものである。一流の文化人の講演を聴き、個々の人生について深く思慮する力をつける。</p> <p>芸術鑑賞講座として、年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有する。</p> <p>教養講座として、年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴く。</p> <p>芸術鑑賞講座と教養講座併せて予定の7回のほか、「特別教養講座」を行う場合がある。</p>		
<b>達成目標</b>	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める。		
<b>受講資格</b>	本学の全学生	<b>成績評価 方法</b>	認定科目 感想文の提出による。
<b>教科書</b>	リーフレット、講演資料		
<b>参考書</b>	図書館で関連図書を展示する。		
<b>学生への要望</b>	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動及び考えを文章にすること。		
<b>オフィスタイム</b>	集会時		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	第1回 教養講座 4/22	作家 玄侑宗久氏 講演	三春町の福聚寺の御住職です。「中陰の花」で第125回芥川賞受賞。ほか、数多くの作品を執筆していますので、あらかじめその作品を読んでみて、作家の考えに触れてみましょう。	120
2	第2回 教養講座 5/27	読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏 講演	メディアでおなじみの読売新聞社特別編集委員の橋本五郎氏。記者としての経験から、現在の日本、世界の情勢を鋭く解説していますので、みなさんも少し考えてみてください。	90
3	第205回 芸術鑑賞講座 6/19	「野村万蔵 狂言」	古典芸能である狂言。現在の「お笑い」のご先祖様のような存在です。笑いのなかに様々な教訓が含まれています。狂言の歴史について、少し勉強してみてください。	90
4	第206回 芸術鑑賞講座 7/4	ジャンヌ・ダルク	フランスを救った勇敢な少女・ジャンヌダルク。オルレアン奇跡の解放に成功し「フランスを守る聖女」と呼ばれながら、最後は、19才で火あぶりの刑に処せられた彼女はどんな女性だったのでしょうか。	90
5	第3回 教養講座 9/18	福島県立医科大学 大平哲也教授 講演	福島県いわき市生まれ。福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授。ストレス発散や笑いと健康をテーマに多くの講演に引っ張りだこの先生です。ホームページなどでは先生の講演内容も掲載されているので見てみましょう。	60
6	第207回 芸術鑑賞講座 10/8~10/13	「浮世絵展」	第73回もみじ会展です。江戸時代に成立し、江戸庶民に愛された「浮世絵」。日本を代表する美術作品「浮世絵」。菱川師宣の見返り美人図、歌川広重の東海道五十三次、葛飾北斎の富嶽三十六景、など海外でも高い評価を受けている作品が数多くあります。その歴史を調べてみてください。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
7	第208回 芸術鑑賞講座 10/25	「ソフィア・ゾリスデン 名曲の花束」	ブルガリアが世界に誇る名門室内合奏団、ソフィア・ゾリスデンがやってきます。国際的に活躍し、数多くの国際音楽祭にも出演していますので、作品を一度聴いてみましょう。

60

<b>科目名</b>	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ		
<b>担当教員</b>			
<b>開講期</b>	通年		
<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 2年 0.5単位 必修		
<b>授業概要</b>	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものである。高度な芸術に接して感動することをもって、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てる。</p> <p>教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものである。一流の文化人の講演を聴き、個々の人生について深く思慮する力をつける。</p> <p>芸術鑑賞講座として、年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有する。</p> <p>教養講座として、年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴く。</p> <p>芸術鑑賞講座と教養講座併せて予定の7回のほか、「特別教養講座」を行う場合がある。</p>		
<b>達成目標</b>	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める。		
<b>受講資格</b>	本学の全学生	<b>成績評価 方法</b>	認定科目 感想文の提出による。
<b>教科書</b>	リーフレット、講演資料		
<b>参考書</b>	図書館で関連図書を展示する。		
<b>学生への要望</b>	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動及び考えを文章にすること。		
<b>オフィスタイム</b>	集会時		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	第1回 教養講座 4/22	作家 玄侑宗久氏 講演	120
2	第2回 教養講座 5/27	読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏 講演	90
3	第205回 芸術鑑賞講座 6/19	「野村万蔵 狂言」	90
4	第206回 芸術鑑賞講座 7/4	ジャンヌ・ダルク	90
5	第3回 教養講座 9/18	福島県立医科大学 大平哲也教授 講演	60
6	第207回 芸術鑑賞講座 10/8～10/13	「浮世絵展」	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
7	第208回 芸術鑑賞講座 10/25	「ソフィア・ゾリスデン 名曲の花束」	ブルガリアが世界に誇る名門室内合奏団、ソフィア・ゾリスデンがやってきます。国際的に活躍し、数多くの国際音楽祭にも出演していますので、作品を一度聴いてみましょう。

60

平成31年度

<b>科目名</b>	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅲ		
<b>担当教員</b>		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 3年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 0.5単位 必修
<b>開講期</b>	通年		
<b>授業概要</b>	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものである。高度な芸術に接して感動することをもって、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てる。</p> <p>教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものである。一流の文化人の講演を聴き、個々の人生について深く思慮する力をつける。</p> <p>芸術鑑賞講座として、年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有する。</p> <p>教養講座として、年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴く。</p> <p>芸術鑑賞講座と教養講座併せて予定の7回のほか、「特別教養講座」を行う場合がある。</p>		
<b>達成目標</b>	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める。		
<b>受講資格</b>	本学の全学生	<b>成績評価 方法</b>	認定科目 感想文の提出による。
<b>教科書</b>	リーフレット、講演資料		
<b>参考書</b>	図書館で関連図書を展示する。		
<b>学生への要望</b>	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動及び考えを文章にすること。		
<b>オフィスタイム</b>	集会時		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	第1回 教養講座 4/22	作家 玄侑宗久氏 講演	120
2	第2回 教養講座 5/27	読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏 講演	90
3	第205回 芸術鑑賞講座 6/19	「野村万蔵 狂言」	90
4	第206回 芸術鑑賞講座 7/4	ジャンヌ・ダルク	90
5	第3回 教養講座 9/18	福島県立医科大学 大平哲也教授 講演	60
6	第207回 芸術鑑賞講座 10/8～10/13	「浮世絵展」	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
7	第208回 芸術鑑賞講座 10/25	「ソフィア・ゾリスデン 名曲の花束」	ブルガリアが世界に誇る名門室内合奏団、ソフィア・ゾリスデンがやってきます。国際的に活躍し、数多くの国際音楽祭にも出演していますので、作品を一度聴いてみましょう。

60

<b>科目名</b>	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅳ		
<b>担当教員</b>		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科建築デザインコース 4年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養 学科 4年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 4年 0.5単位 必修/家 政学部 人間生活学科生活総合コース 4年 0.5単位 必修
<b>開講期</b>	通年		
<b>授業概要</b>	芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものである。高度な芸術に接して感動することをもって、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てる。教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものである。一流の文化人の講演を聴き、個々の人生について深く思慮する力をつける。芸術鑑賞講座として、年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有する。教養講座として、年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴く。芸術鑑賞講座と教養講座併せて予定の7回のほか、「特別教養講座」を行う場合がある。		
<b>達成目標</b>	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める。		
<b>受講資格</b>	本学の全学生	<b>成績評価 方法</b>	認定科目 感想文の提出による。
<b>教科書</b>	リーフレット、講演資料		
<b>参考書</b>	図書館で関連図書を展示する。		
<b>学生への要望</b>	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動及び考えを文章にすること。		
<b>オフィスタイム</b>	集会時		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	第1回 教養講座 4/22	作家 玄侑宗久氏 講演	三春町の福聚寺の御住職です。「中陰の花」で第125回芥川賞受賞。ほか、数多くの作品を執筆していますので、あらかじめその作品を読んでみて、作家の考えに触れてみましょう。	120
2	第2回 教養講座 5/27	読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏 講演	メディアでおなじみの読売新聞社特別編集委員の橋本五郎氏。記者としての経験から、現在の日本、世界の情勢を鋭く解説していますので、みなさんも少し考えてみてください。	90
3	第205回 芸術鑑賞講座 6/19	「野村万蔵 狂言」	古典芸能である狂言。現在の「お笑い」のご先祖様のような存在です。笑いのなかに様々な教訓が含まれています。狂言の歴史について、少し勉強してみてください。	90
4	第206回 芸術鑑賞講座 7/4	ジャンヌ・ダルク	フランスを救った勇敢な少女・ジャンヌダルク。オルレアン奇跡の解放に成功し「フランスを守る聖女」と呼ばれながら、最後は、19才で火あぶりの刑に処せられた彼女はどんな女性だったのでしょうか。	90
5	第3回 教養講座 9/18	福島県立医科大学 大平哲也教授 講演	福島県いわき市生まれ。福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授。ストレス発散や笑いと健康をテーマに多くの講演に引っ張りだこの先生です。ホームページなどでは先生の講演内容も掲載されているので見てみましょう。	60
6	第207回 芸術鑑賞講座 10/8~10/13	「浮世絵展」	第73回もみじ会展です。江戸時代に成立し、江戸庶民に愛された「浮世絵」。日本を代表する美術作品「浮世絵」。菱川師宣の見返り美人図、歌川広重の東海道五十三次、葛飾北斎の富嶽三十六景、など海外でも高い評価を受けている作品が数多くあります。その歴史を調べてみてください。	60
7	第208回 芸術鑑賞講座 10/25	「ソフィア・ゾリスデン 名曲の花束」	ブルガリアが世界に誇る名門室内合奏団、ソフィア・ゾリスデンがやってきます。国際的に活躍し、数多くの国際音楽祭にも出演していますので、作品を一度聴いてみましょう。	60